緑のカーテン

# 春日井市

# 環 境 報 告 書

## 2020年度版

打ち水イベント

エコライフセミナー

春日井市環境基本計画

・

春日井市地球温暖化対策実行計画

# 目　次

## 第1部　環境基本計画の実施状況


ページ

第1章　環境基本計画の概要 …… 1

第2章　数値目標 …… 1
　第1節　雨水浸透率 …… 2
　第2節　みどり率 …… 4
　第3節　ごみ廃棄量 …… 6
　第4節　温室効果ガス排出量 …… 8
　第5節　環境基準達成率 …… 10
　第6節　環境まちづくり参加人数 …… 12

第3章　重点的取組み …… 13
　第1節　地球環境を保全する …… 13
　第2節　自然を守り自然に親しむ …… 19
　第3節　ごみを減らし資源を有効に活用する …… 23
　第4節　市民と事業者、行政が協働して環境まちづくりを進める …… 25


## 第2部　地球温暖化対策実行計画の実施状況


ページ

第1章　地球温暖化対策実行計画の概要 …… 31

第2章　温室効果ガス排出量 …… 32
　第1節　温室効果ガス排出量の推移 …… 32
　第2節　温室効果ガス排出量増減の主な要因 …… 33

第3章　主な取組み …… 34
　第1節　緩和策
　　（温室効果ガス削減に向けた取組み） …… 34
　第2節　適応策
　　（気候変動の影響に対処する取組み） …… 39

第4章　成果指標の進捗状況 …… 巻末

## 環境報告書とは

環境報告書は、計画の進行管理を適切に行うため作成しており、**環境基本計画**に基づく環境目標の実現に向けて実施した取組みと、**地球温暖化対策実行計画**に基づく温室効果ガス削減目標の達成に向けて実施した取組みをまとめたものです。

取組み一覧をとりまとめた別冊資料等については、以下の春日井市ホームページでご覧いただけます。（市ホームページ：https://www.city.kasugai.lg.jp/shimin/gomi/houkoku/index.html）

QRコードを読み込んで
春日井市HPへアクセス



## 第1章　環境基本計画の概要

### ○計画の体系

- ○ **環境像**
  - みろくの森から道風の里まで
  - 蛙の合唱消えぬ道
  - 暮らしと出会いを大切にするまち
- ○ **環境目標**（4項目）
  - 1　住みたい、楽しく美しい、歩きたくなるまち・春日井（都市・社会基盤に関すること）
  - 2　豊かな自然と人が共存し、歴史・文化を育むまち・春日井（自然・風土に関すること）
  - 3　美しい地球を守る、地域のしくみがいきづくまち・春日井（くらし・低炭素・資源循環社会に関すること）
  - 4　ネットワークを活用し、環境市民が育つまち・春日井（学習・ネットワークに関すること）
- ○ **まちづくりの目標**（9項目）
- ○ **取組みの目標**（25項目）
- ○ **基本的施策**（75項目）
- ○ **具体的取組み**（214項目）
- ○ **主体別環境配慮**（市民・事業者の取組み）
- ○ **重点的取組み**（第3期に向けて）
- ○ **地域別環境配慮**
- ○ **計画の推進**
- ○ **数値目標**（6項目）
  - 1　雨水浸透率
  - 2　みどり率
  - 3　ごみ廃棄量
  - 4　温室効果ガス排出量
  - 5　環境基準達成率
  - 6　環境まちづくり参加人数

## 第2章　数値目標

4つの環境目標の実現に向け、目標の達成状況を分かりやすいものにするため、6つの数値目標を設定しています。2019 年度（令和元年度）の数値目標の達成状況は、次のとおりです。

| 項目 | 基準年度 | 数値目標 | | 2019 年度 |
|---|---|---|---|---|
| 雨水浸透率 | — | 0.36 以上 | | 0.367 |
| みどり率 | — | 将来市街地 | 10%以上 | 26.1%<br>（2014 年度実績） |
| | | 市域全体 | 30%以上 | 42.0%<br>（2014 年度実績） |
| ごみ廃棄量※ | 2010 年度 | ごみ排出量 | 130g 削減<br>（1人1日あたり） | 40g 削減 |
| | | 家庭系ごみ排出量 | 15%削減 | 14.1%削減 |
| | | 事業系ごみ排出量 | 20%削減 | 6.8%増加 |
| 温室効果ガス排出量※ | 2008 年度 | 市内全域 | 17%削減 | 4.6%減少<br>（2018 年度実績） |
| 環境基準達成率 | — | 大気6項目、水質4項目、騒音2項目における各項目の達成状況 | 各項目で100%達成 | 11 項目達成 |
| 環境まちづくり参加人数 | — | イベント等への参加人数 | 総人口の 10% | 16.9% |

※「ごみ廃棄量」「温室効果ガス排出量」の数値目標は 2019 年3月に「ごみ処理基本計画」「地球温暖化対策実行計画」を改定したことに伴い変更となりました。改定後の数値目標等について「ごみ廃棄量」は別に公表している「ごみ処理基本計画」、「温室効果ガス排出量」は本報告書 31 ページをご覧ください。

# 第１節　雨水浸透率

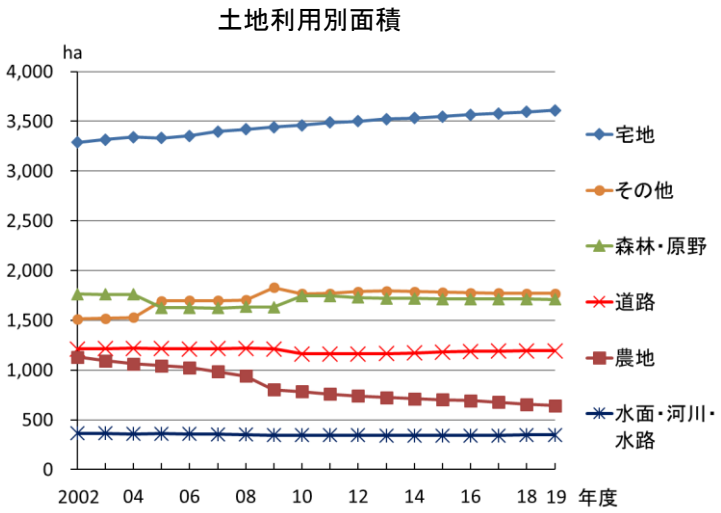
**環境目標1：「住みたい、楽しく美しい、歩きたくなるまち・春日井」に関する数値目標**

**市域全体での雨水浸透率　0．36以上**

雨水浸透率は、水循環を表す指標の一つで、水害の防止、ヒートアイランド現象の緩和、地下水の保全に関わるものです。森林、農地の保全及び宅地・道路の浸透能力の向上を図ることによって、雨水浸透率の確保をめざします。

## ○ 2019 年度　土地利用別雨水浸透率

| 土地利用種別 | | 基準浸透率 | 面積(ha) | 基準浸透率×面積 |
|---|---|---|---|---|
| 宅地 | 建ぺい地 | 0.0 | 1,047.5 | 0.0 |
| | その他 | 0.2 | 2,564.5 | 512.9 |
| 農地 | 田 | 0.8 | 334.0 | 267.2 |
| | 畑 | 0.8 | 308.0 | 246.4 |
| 森林・原野 | | 0.8 | 1,712 | 1,369.6 |
| 道路 | | 0.1 | 1,194 | 119.4 |
| 水面・河川・水路 | | 0.0 | 349 | 0.0 |
| その他 | | 0.5 | 1,769 | 884.5 |
| 計 | | | 9,278 | 3,400.0 |
| | | | ① | ② |

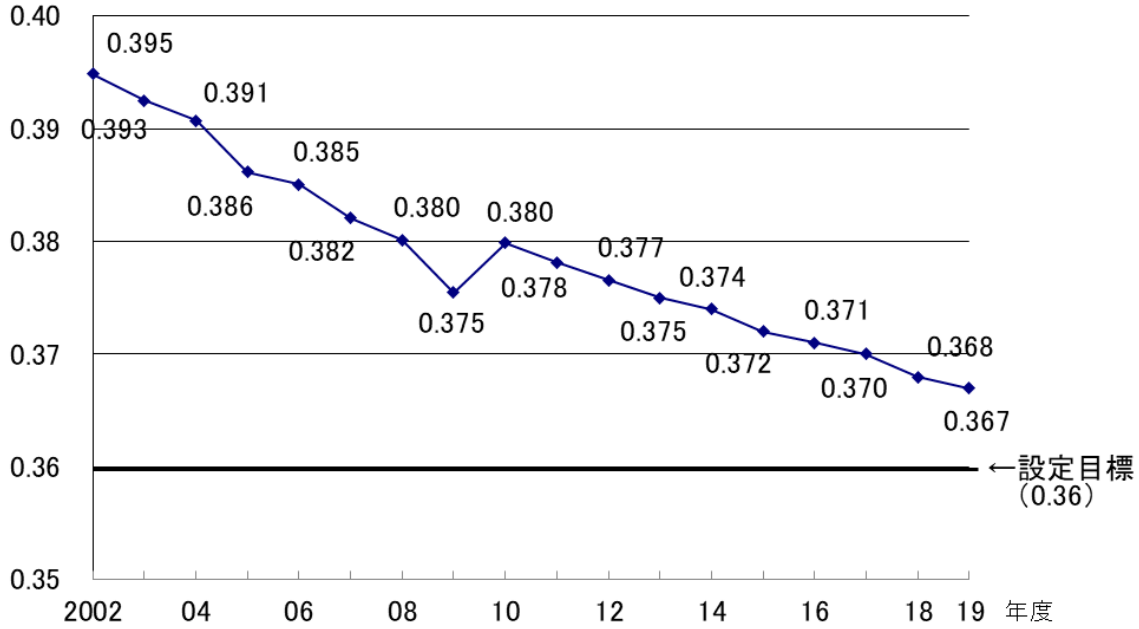



## ○ 2019 年度　透水性舗装における雨水浸透率

| 実施区分 | | 基準浸透率 | 面積(ha) | | | 基準浸透率×面積 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2002～2018 年度 | 2019 年度 | 累計 | |
| 道路対策 | 歩道 | 0.7 | 9.93 | 0.13 | 10.06 | 7.04 |
| 駐車場対策 | 公共 | 0.7 | 1.05 | 0.76 | 1.81 | 1.27 |
| 公園対策 | 公共 | 0.7 | 0.73 | 0.74 | 1.47 | 1.03 |
| | | | | | 計 | 13.34 | 9.34 |
| | | | | | | ③ |

$$\text{雨水浸透率} = \frac{② + ③}{①} = \frac{3{,}400.0 + 9.34}{9{,}278} = 0.367$$

雨水浸透率




※2010 年度は集計方法の見直しにより、道路、その他に分類されていた土地（約 100ha）が森林・原野（国有林）として集計されたため上昇。

## ○ 結　果

雨水浸透率は、土地利用別雨水浸透率と透水性舗装における浸透率の和で算出され、2019 年度は、0.37（0.367）でした。

雨水浸透率を経年変化で見ると、2002 年度（平成 14 年度）以降、減少傾向で推移しています。

## 第2節　みどり率

**環境目標2：「豊かな自然と人が共存し、歴史・文化を育むまち・春日井」に関する数値目標**

**将来市街地でみどり率10%以上、市域全体でみどり率30%以上**

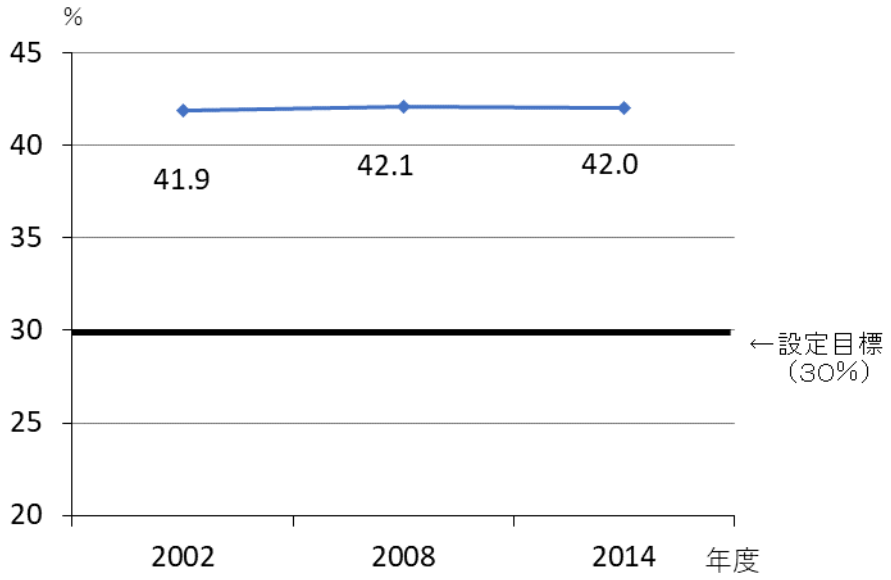
みどり率は、森林、農地、草地などの緑の量を表す指標の一つで、生物の生息環境など自然に関わるものです。緑は、都市化によって減少しますが、森林、農地の保全や市街地における緑化の推進により、みどり率の確保をめざします。

○ みどり率 （2014年8～10月の航空写真を基に算出したもの）

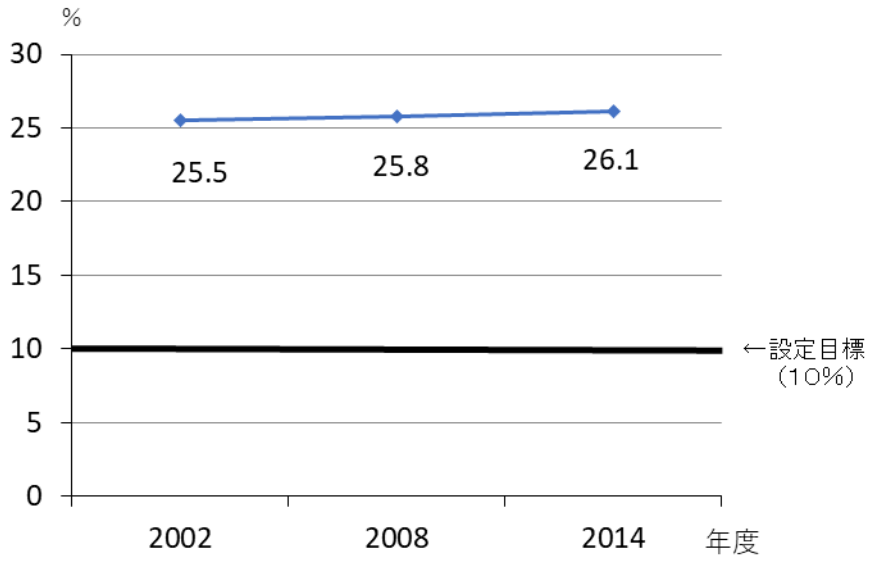
| 区分 | 市域全体 | 将来市街地※ |
|---|---|---|
| 樹 林 地 | 2,226.9ha | 610.4ha |
| 竹　林 | 56.5ha | 22.9ha |
| 街 路 樹 | 35.9ha | 31.9ha |
| 芝　地 | 288.1ha | 164.7ha |
| 草　地 | 577.2ha | 397.9ha |
| 水　田 | 332.3ha | 149.6ha |
| 畑 | 278.3ha | 181.2ha |
| 果 樹 園 | 98.6ha | 65.2ha |
| その他農地 | 2.2ha | 1.7ha |
| 緑 地 計 | 3,896.0ha | 1,625.5ha |
| 全 面 積 | 9,278 ha | 6,226 ha |
| みどり率 | 42.0% | 26.1% |

※　将来市街地とは、現在の市街化区域に加え、総合計画で位置づけられた市街地開発事業等の予定区域、市街化調整区域の人口集中地区、及びこれらに隣接する市街化調整区域の住宅団地等を示します。

みどり率（市域全体）




みどり率（将来市街地）




## ○ 結　果

みどり率は、航空写真から緑と認められるものを算出します。2014年度（平成26年度）に算出した結果（2014年8～10月に撮影した航空写真を基に算出したもの）は、市域全体で42.0%、将来市街地で26.1%であり、ともに目標値を達成しています。

## 第3節　ごみ廃棄量

**環境目標3：「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづくまち・春日井」に関する数値目標**

| | | |
|---|---|---|
| 1人1日あたりのごみ排出量 | 130g削減 | 2010年度（平成22年度）比 |
| 家庭系ごみ排出量 | 15%削減 | |
| 事業系ごみ排出量 | 20%削減 | |

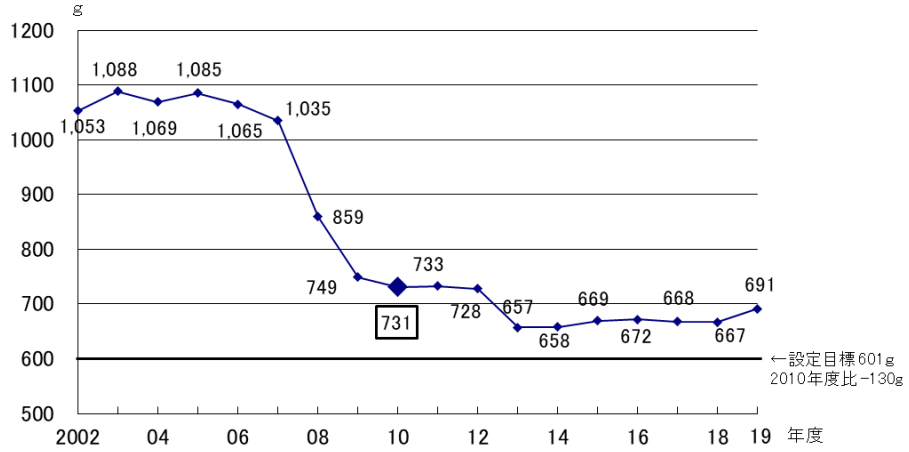
市が収集（処理）したごみから資源として回収された量を除いたものをごみ排出量とし、ごみの減量やリサイクルを進めることにより、ごみ排出量の削減をめざします。

○ 2019年度の状況

| 項目 | 合計 |
|---|---|
| ① ごみ総収集量 | 92,525 t |
| ② 処理過程資源回収量※1 | 4,401 t |
| ③ 資源収集量 | 9,617 t |
| ④ ごみ量（①－②－③） | 78,507 t |
| ⑤ 総人口（2020年4月1日現在） | 311,129 人 |
| ⑥ 1人1日当たりのごみ排出量 | 691 g/人・日<br>（2010年度比 -40g） |

※1　クリーンセンターでの処理過程において発生した資源量

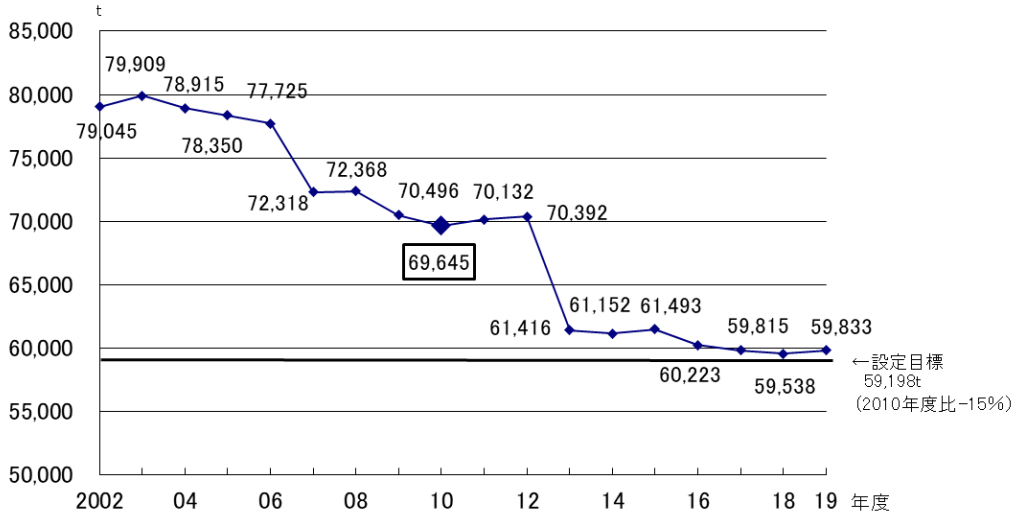
1人1日当たりのごみ排出量



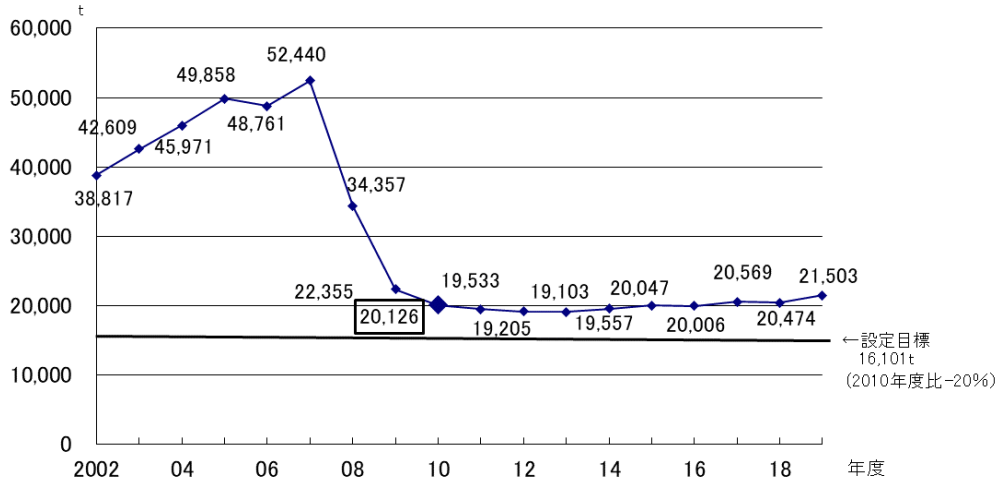

○ 2019年度　家庭系ごみ排出量及び事業系ごみ排出量

| 項目 | 2010年度（基準年度） | 2019年度 | 増減率（基準年度比） |
|---|---|---|---|
| ①　家庭系ごみ排出量 | 69,645 t | 59,833 t | -14.1% |
| ②　事業系ごみ排出量 | 20,126 t | 21,503 t | 6.8% |

① 家庭系ごみ排出量




② 事業系ごみ排出量




○ 結　果

2019 年度の1人1日当たりのごみ排出量は 691gであり、基準年度(731g)と比べ 40gの削減となっています。

2019 年度の家庭系ごみ排出量は、59,833tであり、基準年度(69,645t)と比べ、14.1%の削減となっています。

また、2019 年度の事業系ごみ排出量は、21,503tであり、基準年度(20,126t)と比べ、6.8%の増加となっています。

なお、2019 年3月にごみ処理基本計画を改定しました。

その中で、数値目標について、1 人 1 日あたりごみ排出量を 2017 年度(平成 29 年度)比で 2028 年度(令和 10 年度)までに 47g削減するなどの目標を掲げています。

詳細については、別に公表している「ごみ処理基本計画」(市ホームページ: https://www.city.kasugai.lg.jp/shimin/gomi/gomi/kihonkeikaku/index.html ) をご覧ください。

## 第4節　温室効果ガス排出量

**環境目標3：「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづくまち・春日井」に関する数値目標**

**市内全域の温室効果ガス排出量を17%削減（2008年度（平成20年度）比）**

温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の効果を表す指標の一つです。各部門の排出量の総和とし、市民、事業者の協力により、削減をめざします。

### ○ 2018 年度の温室効果ガス排出量

| 部門 | | 2008 年度（基準年度） | 2018 年度 | | 増減率（基準年度比） |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 排出量($t\text{-}CO_2$) | 排出量($t\text{-}CO_2$) | 構成比 | |
| 二酸化炭素排出量 | 産業部門 | 760,955.3 | 752,771.3 | 41.3% | −1.1% |
| | 民生家庭部門 | 304,993.1 | 269,558.7 | 14.8% | −11.6% |
| | 民生業務部門 | 393,619.7 | 325,733.7 | 17.9% | −17.2% |
| | 運輸部門 | 405,367.1 | 443,082.0 | 24.3% | 9.3% |
| | 廃棄物部門 | 31,310.5 | 20,821.5 | 1.1% | −33.5% |
| | 小計 | 1,896,245.6 | 1,811,967.1 | 99.5% | −4.4% |
| メタン排出量※ | | 1,712.9 | 1,582.9 | 0.1% | −7.6% |
| 一酸化二窒素排出量※ | | 10,116.3 | 7,396.8 | 0.4% | −26.9% |
| 温室効果ガス排出量合計 | | 1,908,074.8 | 1,820,946.9 | 100.0% | −4.6% |

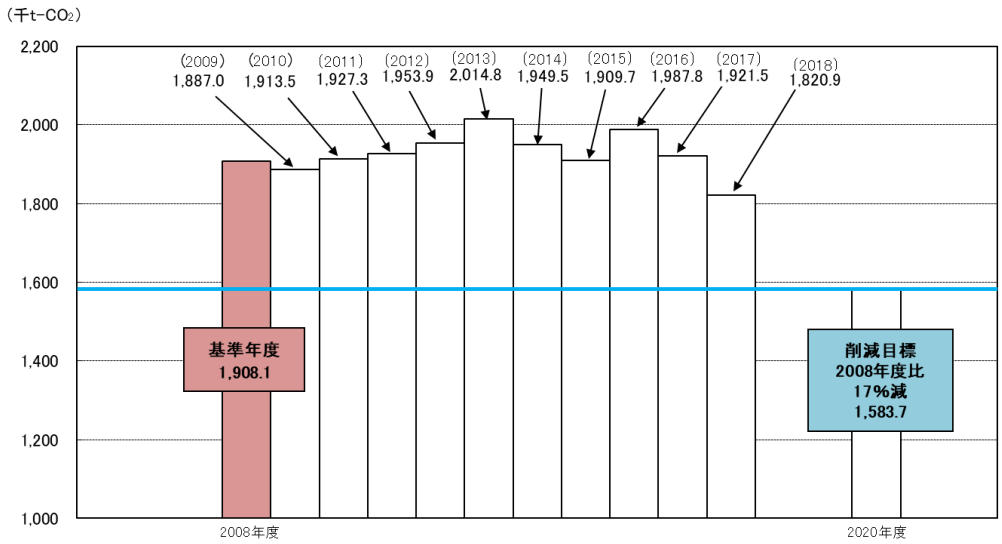
※　メタン、一酸化二窒素の排出量は二酸化炭素排出量に換算
※　四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。

### ○ 結　果

2018 年度（平成 30 年度）の温室効果ガス排出量は、1,820.9 千 $t\text{-}CO_2$ であり、基準年度（1,908.1 千 $t\text{-}CO_2$）に比べ 4.6%減少しています。

部門別二酸化炭素排出量は基準年度と比べ、運輸部門は増加し、産業部門、民生家庭部門、民生業務部門、廃棄物部門は減少しています。

## ○ 温室効果ガス排出量の推移




なお、2019 年3月に地球温暖化対策実行計画を改定しました。
その中で、温室効果ガス排出量の削減目標は基準年度を 2013 年度（平成 25 年度）、目標年度を 2030 年度（令和 12 年度）とし、26％削減する目標を掲げています。
詳細については 31 ページ（第2部　地球温暖化対策実行計画の実施状況）をご覧ください。

## ○ 部門別二酸化炭素排出量の推移

（単位　千t-CO2）

| 部門名＼年度 | 2008年度（基準年度） | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 増減率（基準年度比） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 産業部門 | 761.0 | 716.7 | 721.9 | 704.9 | 730.9 | 750.1 | 754.7 | 727.3 | 799.7 | 770.9 | 752.8 | −1.1% |
| 民生家庭部門 | 305.0 | 311.2 | 329.8 | 343.4 | 337.3 | 336.9 | 316.2 | 299.8 | 310.5 | 292.0 | 269.6 | −11.6% |
| 民生業務部門 | 393.6 | 418.9 | 423.7 | 432.8 | 437.5 | 475.8 | 420.4 | 422.7 | 410.6 | 390.3 | 325.7 | −17.2% |
| 運輸部門 | 405.4 | 404.5 | 404.3 | 411.4 | 415.9 | 422.1 | 428.0 | 431.5 | 438.1 | 440.0 | 443.1 | 9.3% |
| 廃棄物部門 | 31.3 | 26.1 | 24.5 | 25.3 | 23.1 | 20.8 | 21.0 | 19.1 | 19.5 | 19.3 | 20.8 | −33.5% |
| 二酸化炭素排出量 | 1,896.2 | 1,877.4 | 1,904.0 | 1,917.8 | 1,944.8 | 2,005.6 | 1,940.3 | 1,900.3 | 1,978.4 | 1,912.5 | 1,812.0 | −4.4% |

※　四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。

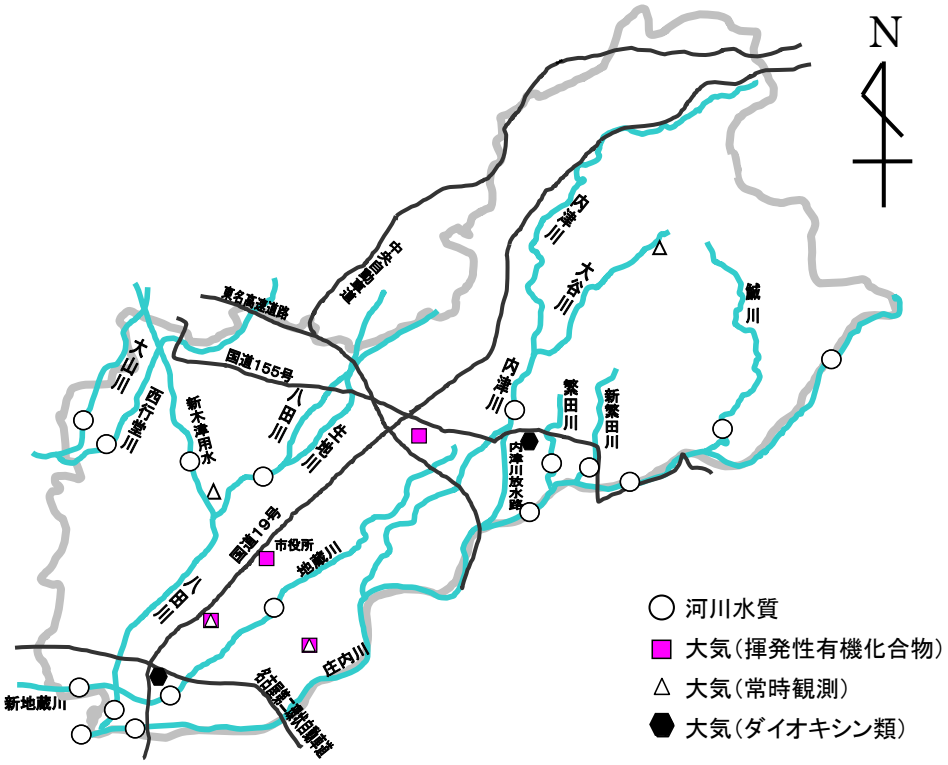
## 第5節　環境基準達成率

**環境目標3：「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづくまち・春日井」に関する数値目標**

**大気、水質、騒音に関する環境基準について、項目ごとに　100%達成**

環境基準達成率は、環境基本法において「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められている環境基準の適合状況を表す指標です。国、県、市民、事業者との連携による対策の推進により、環境基準の達成をめざします。

○ 大気・水質測定地点



## ○ 2019 年度　環境基準達成状況

| 指　標 | | | 区　分 | 測定値 | 単位 | 環境基準等 | 適合地点数<br>測定地点数 | 達成率（%） | 適合可否 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大気 | ① | 二酸化硫黄($SO_2$)<br>日平均の2%除外値 | | 0.005, 0.008 | ppm | 日平均の2%除外値が0.04ppm以下であること。ただし、日平均0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 | 2/2 | 100 | ○ |
| | | 超過日数 | | 0 | 日 | | | | |
| | ② | 二酸化窒素($NO_2$)<br>日平均値の年間98%値 | | 0.016～0.032 | ppm | 日平均の年間98%値が0.06ppm以下であること | 4/4 | 100 | ○ |
| | ③ | 浮遊粒子状物質(SPM)<br>日平均の2%除外値 | | 0.035～0.041 | mg/m$^3$ | 日平均の2%除外値が0.10mg/m$^3$以下であること。ただし、日平均0.10mg/m$^3$を超えた日が2日以上連続しないこと。 | 4/4 | 100 | ○ |
| | | 超過日数 | | 0 | 日 | | | | |
| | ④ | 一酸化炭素(CO)<br>日平均の2%除外値 | | 0.37 | ppm | 日平均の2%除外値が10ppm以下であること。ただし、日平均10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 | 1/1 | 100 | ○ |
| | | 超過日数 | | 0 | 日 | | | | |
| | ⑤ | 揮発性有機化合物<br>濃度平均値 | ベンゼン | 0.0004～0.0006 | mg/m$^3$ | 1年平均値が0.003mg/m$^3$以下であること。 | 4/4 | 100 | ○ |
| | | | トリクロロエチレン | <0.0003, 0.0003 | mg/m$^3$ | 1年平均値が0.13mg/m$^3$以下であること。 | 4/4 | | |
| | | | テトラクロロエチレン | <0.0003 | mg/m$^3$ | 1年平均値が0.2mg/m$^3$以下であること。 | 4/4 | | |
| | | | ジクロロメタン | 0.0011～0.0015 | mg/m$^3$ | 1年平均値が0.15mg/m$^3$以下であること。 | 4/4 | | |
| | ⑥ | 大気中のダイオキシン類<br>平均値 | | 0.011,0.012 | pg-TEQ/m$^3$ | 1年平均値が0.6pg-TEQ/m$^3$以下であること。 | 2/2 | 100 | ○ |
| 水質 | ⑦ | 健康項目<br>（庄内川・市内中小河川） | | 全項目適合 | ― | 27項目設定※1 | 16/16※3 | 100 | ○ |
| | ⑧ | 生活環境項目<br>生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値（庄内川） | | 1.2～4.6 | mg/L | 3mg/L以下又は8mg/L以下(河川区域による) | 5/5 | 100 | ○ |
| | ⑨ | 同(BOD)の75%値<br>（市内中小河川） | | 0.9～8.0 | mg/L | (市独自目標) 8mg/L以下 | 12/12 | 100 | ○ |
| | ⑩ | 健康項目（地下水） | メッシュ別調査 | 全項目適合 | ― | 28項目設定※2 | 1/1 | 100 | ○ |
| 騒音 | ⑪ | 環境騒音（一般） | 昼間 | 44～56 | ﾃﾞｼﾍﾞﾙ | 55～60デシベル以下(地域による) | 9/9 | 100 | ○ |
| | | | 夜間 | 36～49 | ﾃﾞｼﾍﾞﾙ | 45～50デシベル以下(　〃　) | 9/9 | 100 | |
| | ⑫ | 環境騒音（自動車騒音） | 昼間 | 59～73 | ﾃﾞｼﾍﾞﾙ | 70デシベル以下 | 8,814/8,879 | 99.3※4 | × |
| | | | | 54.3～100 | % | | | | |
| | | | 夜間 | 56～69 | ﾃﾞｼﾍﾞﾙ | 65デシベル以下 | 8,795/8,879 | 99.1※4 | |
| | | | | 54.3～100 | % | | | | |

※1:　カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサンの27項目。

※2:　※1のうち、シス-1,2-ジクロロエチレンに代わり、1,2-ジクロロエチレン、クロロエチレンを加えた28項目。

※3:　新木津用水高山橋については、工事のため欠測。

※4:　騒音⑫環境騒音（自動車騒音）の達成率は、対象とする全戸数の達成率。

## ○ 結　果

2019 年度は、大気、水質、騒音に関する全 12 項目の指標中、二酸化硫黄を始めとする 11 項目が達成しています。

## 第6節　環境まちづくり参加人数

**環境目標4：「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづくまち・春日井」に関する数値目標**

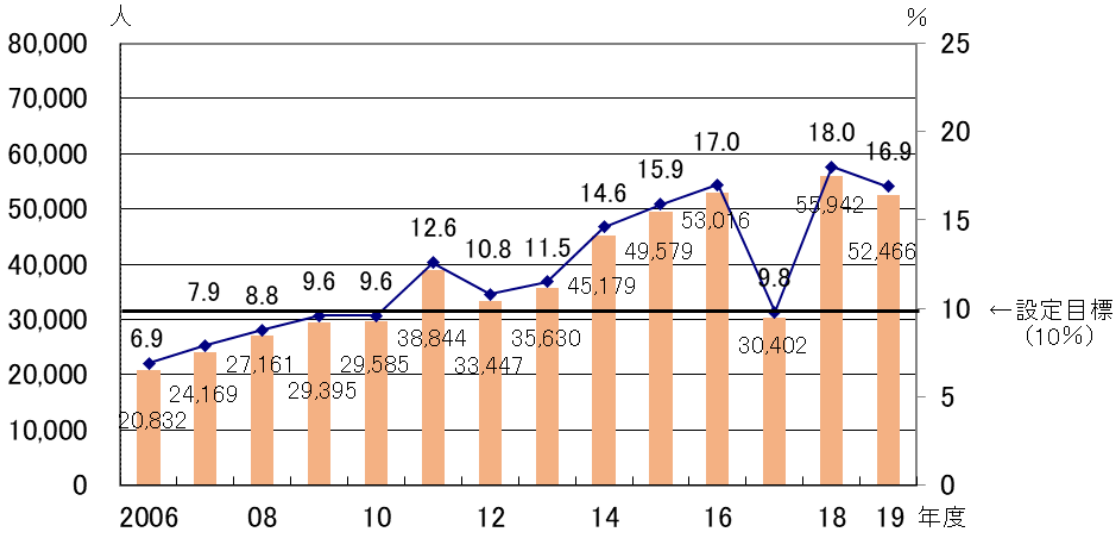
**環境に関するイベント等への参加人数が、総人口の　10%以上**

市民、事業者の参加による環境まちづくりの進み具合を表す指標の一つです。環境まちづくりへの参加を推進し、イベント等への参加者が増えることをめざします。

○ 2019 年度　環境まちづくり参加人数

| 分　類 | | 環境まちづくり参加人数（総人口比） |
|---|---|---|
| 1 | 環境に関するイベントなど | 36,449 人 |
| 2 | 環境に関する講座など | 11,538 人 |
| 3 | 環境に関連した市民団体など | 968 人 |
| 4 | その他環境に関する市民、事業者の活動 | 3,511 人 |
| 合　計 | | 52,466 人　（16.9%） |

環境まちづくり参加人数




※2017 年度の春日井まつりにおけるエコワールド（2019 年度は 18,097 人が参加）は、悪天候のため中止。

○ 結　果

2019 年度の環境まちづくり参加人数は 52,466 人で、総人口 311,129 人（2020 年（令和2年）4月1日現在）に対し、16.9%となっており、目標値より 6.9%高くなっています。

## 第1節　地球環境を保全する（低炭素社会）

### (1)再生可能エネルギーの利用の促進

### 市民環境フォーラム

具体的取組み番号　119

【取組み内容等】

市民の環境活動への取組みの推進と各団体や個人等の交流促進や環境情報を提供するため市民環境フォーラムを開催しました。

環境対策の推進や地域において環境活動の取組みを行っている個人や団体の功績をたたえる「かすがい環境賞」の表彰、環境をテーマとした中部大学春日丘高等学校国際コース３年生による研究発表及び動物写真家の前川貴行氏による講演を行いました。

研究発表では、地球温暖化を防止するために、公共交通機関の利用や打ち水の実施など私たちができることを考え取り組むことが大切であることを発表しました。基調講演では、躍動感あふれる様々な動物の写真とともに、その写真にまつわるエピソードや何ヶ月にも渡る撮影の体験談から、自然環境の過酷さや動物たちの自然な姿を感じることができ、自然環境の保全について考えるきっかけとなりました。

QR コードを読み込んで春日井市HPへアクセス

市民環境フォーラム（2019 年度）

| 開催日 | 場所 | 参加者 | 内容 |
|---|---|---|---|
| ８月 31 日（土） | 東部市民センター | 230 人 | ○「かすがい環境賞」表彰<br>個人：冨田　雅巳　望月　恒徳<br>団体：味美小学校区コミュニティ<br>愛知県たばこ販売協同組合　尾張／春日井支部<br>○研究発表<br>研究テーマ：「快適な暮らしのために」<br>発表者：中部大学春日丘高等学校国際コース３年生５名<br>○基調講演<br>演目：「動物写真家が語る　自然・命との対峙」<br>講師：動物写真家　前川　貴行 |

「かすがい環境賞」表彰

中部大学春日丘高等学校による研究発表

基調講演の様子

## エコライフセミナー

具体的取組み番号 119

【取組み内容等】

家庭でできる地球温暖化対策や環境に優しいライフスタイルへの転換、エネルギーの大切さについて学び、考えるきっかけづくりとして、エコライフセミナーを実施しました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

エコライフセミナー（2019 年度）

| イベント名 | 講師 | 開催日 | 場所 | 参加者 | 内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 竹であそぼう！～水でっぽう作り～ | 市職員・かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議 | 8月7日（水） | 文化フォーラム交流アトリウム・市民広場 | 18 組 41 人 | 講師による講座「未来の地球と私たちのくらし」で、地球温暖化について学んだ後、竹を使って水でっぽうを作り、「打ち水」を実施し、環境に優しいライフスタイルへの転換を学んだ。 |
| 水力発電を体感しよう！ | 電源開発株式会社 | 10 月6日（日） | 電源開発株式会社中西地域制御所 | 7組 16 人 | 風力、水力、火力発電の模型を使った発電の仕組みや、発電所から家庭まで電気が届く過程などを学び、施設見学や、体験学習などを通じて、エネルギーの大切さを学んだ。 |

竹であそぼう！～水でっぽう作り～と打ち水の様子

水力発電を体感しよう！の様子

## 住宅用太陽光発電システム等の設置補助

具体的取組み番号 119

【取組み内容等】

エネルギーを効率的に利用して節約する省エネ機器やエネルギーを創り出す創エネ機器、エネルギーを蓄えて、必要なときに利用できる蓄エネ機器等の設置に対し、補助を実施しました。

なお、1998 年度（平成 10 年度）からの累計で、4,782 件、22,053kW の太陽光発電システムに対し助成を実施し、年間約 10,078t※1の二酸化炭素排出削減が見込まれます。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

住宅用地球温暖化対策機器設置費補助件数

| 内容 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|---|---|---|---|
| 一体的導入※2 | — | — | 72 件 |
| 太陽光発電システム（単体）※3 | 298 件 | 316 件 | — |
| 燃料電池システム | 124 件 | 116 件 | 91 件 |
| 家庭用エネルギー管理システム | 78 件 | 109 件 | 45 件 |
| 定置用リチウムイオン蓄電システム | 60 件 | 112 件 | 111 件 |
| 窓断熱改修※4 | — | — | 18 件 |

※1：最大出力値×1,000×中部電力（2019 年度）の二酸化炭素排出係数 0.457（kg-$CO_2$/年）
※2：2019 年度より家庭用エネルギー管理システム、定置用リチウムイオン蓄電システムとの一体的導入補助を開始
※3：太陽光発電システムの単体補助は 2018 年度まで
※4：窓断熱改修の補助は 2019 年度から開始

## 公共施設への自然エネルギー設備の導入

具体的取組み番号 120

【取組み内容等】

公共施設の屋根等を利用し、自然エネルギーを活用した太陽光発電システムの導入を進めるとともに、災害時の非常用の電源確保を図るなど公共施設の防災機能の向上にも努めています。

なお、本庁舎の太陽光発電システムによる 2020 年1月から 2020 年 12 月までの発電量の実績は 24,267.71kWh(交流電力)であり、約 11tの $CO_2$ を削減しました。

太陽光発電システム設置施設

| No | 施設名 | 設置年月 | 最大出力値 | 年間 $CO_2$ 削減量※1 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 介護サービスセンター | 2000 年2月 | 10.0 kW | 4.6t-$CO_2$ |
| 2 | 丸田小学校 | 2002 年2月 | 30.0 kW | 13.7t-$CO_2$ |
| 3 | 勝川駅南口立体駐車場 | 2002 年 11 月 | 6.5 kW | 3.0t-$CO_2$ |
| 4 | 出川小学校 | 2007 年2月 | 30.0 kW | 13.7t-$CO_2$ |
| 5 | 小野保育園 | 2011 年3月 | 5.0 kW | 2.3t-$CO_2$ |
| 6 | 少年自然の家 | 2012 年3月 | 40.0 kW | 18.3t-$CO_2$ |
| 7 | エコメッセ春日井 | 2012 年3月 | 10.0 kW | 4.6t-$CO_2$ |
| 8 | 神領保育園 | 2013 年3月 | 5.0 kW | 2.3t-$CO_2$ |
| 9 | 落合公園体育館 | 2013 年4月 | 10.0 kW | 4.6t-$CO_2$ |
| 10 | 知多公民館※2 | 2014 年3月 | 49.5 kW | 22.6t-$CO_2$ |
| 11 | 総合保健医療センター※2 | 2014 年4月 | 47.5 kW | 21.7t-$CO_2$ |
| 12 | 東部調理場 | 2014 年9月 | 30.0 kW | 13.7t-$CO_2$ |
| 13 | 東部市民センター※2 | 2015 年 12 月 | 60.2 kW | 27.5t-$CO_2$ |
| 14 | 総合福祉センター※2 | 2016 年1月 | 38.7 kW | 17.7t-$CO_2$ |
| 15 | 坂下公民館 | 2016 年1月 | 20.0 kW | 9.1t-$CO_2$ |
| 16 | 衛生プラント処理棟※2 | 2016 年3月 | 125.1 kW | 57.2t-$CO_2$ |
| 17 | 味美ふれあいセンター※2 | 2016 年3月 | 49.5 kW | 22.6t-$CO_2$ |
| 18 | 西部ふれあいセンター※2 | 2016 年3月 | 47.3 kW | 21.6t-$CO_2$ |
| 19 | 総合体育館※2 | 2016 年3月 | 51.6 kW | 23.6t-$CO_2$ |
| 20 | 新藤山台小学校※2 | 2016 年3月 | 30.0 kW | 13.7t-$CO_2$ |
| 21 | JR春日井駅 | 2016 年7月 | 46.0 kW | 21.0t-$CO_2$ |
| 22 | 第一保育園※2 | 2016 年9月 | 56.7 kW | 25.9t-$CO_2$ |
| 23 | 本庁舎 | 2016 年 12 月 | 20.7 kW | 9.5t-$CO_2$ |
| 24 | 清掃事業所※2 | 2016 年 12 月 | 315.9 kW | 144.4t-$CO_2$ |
| 25 | 市営下原住宅※2 | 2018 年 11 月 | 49.2 kW | 22.5t-$CO_2$ |
| 合計 | | | 1,184.4kW | 541.3t-$CO_2$ |

(注)四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。

※1:最大出力値×1,000×中部電力(2019 年度)の二酸化炭素排出係数 0.457 (kg-$CO_2$/年)

※2:屋根貸しにより設置

JR春日井駅

市営下原住宅

## (2)省エネルギー行動の促進

### COOL CHOICE 啓発　具体的取組み番号 112

【取組み内容等】

国が進める国民運動「地球にやさしい賢い選択」COOL CHOICE の趣旨に賛同し、2017 年5月1日に市民・事業者・市民活動団体と連携して取組みを推進することを宣言しました。

2019 年度はエコライフセミナーや、出前講座、子ども環境アカデミー、エコドライブ講習会など様々な機会を捉え、通年にわたり普及啓発を行いました。

COOL CHOICE 啓発(2019 年度)

| イベント名 | 開催日 | 場所 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 消費生活展 | 6月7日(金)<br>～8日(土) | 市役所<br>市民ホール・<br>市民広場 | 愛知県地球温暖化防止活動推進センターと連携し、パネル展示を行う他、手回し発電機や自転車発電機により省エネについて体験するブースの設置や、市民広場でドライミスト送風機を運転するなど、環境啓発を行った。 |
| エコライフセミナー<br>(P14 参照) | 8月7日(水) | 文化フォーラム<br>交流アトリウム・<br>市民広場 | かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議と連携し開催。冒頭で環境省の作成した動画「未来の地球と私たちのくらし」により、地球温暖化の仕組みや、家庭でもできる温暖化対策について学習した。 |
| 気象予報士出前講座<br>(P26 参照) | 9月 24 日(火)<br>10 月 16 日(水) | 高森台・<br>押沢台・<br>春日井<br>小学校 | NPO法人気象キャスターネットワークと連携し、気象予報士を講師とし、地球温暖化の仕組みや影響、将来予測について学ぶほか、日常生活でどのようなエネルギーをいつ使っているかを想像し、自分たちにできる省エネ行動を考えた。 |
| エコワールド<br>(P28 参照) | 10 月 19 日(土)<br>～20 日(日) | 中央公園 | 環境政策課ブースにて、株式会社 LIXIL と連携し、断熱窓の紹介や窓周りの省エネの提案など家庭でできる地球温暖化防止策を紹介し、啓発を行った。 |
| 子ども環境アカデミー<br>第3回(P27 参照) | 11 月9日(土) | 株式会社<br>JERA<br>川越火力<br>発電所 | 手回し発電機などを使った発電実験や発電所内部の見学を通して発電の仕組みを学び、見学や体感することで電気を生み出す大変さを知り、省エネの大切さを実感した。 |
| 市民環境アカデミー第<br>3回(P25 参照) | 11 月 29 日(金) | パナソニック<br>エコシステムズ<br>株式会社 | 遮熱塗装や地中熱の利用、照明の LED 化など、市内の事業者が $CO_2$ 削減やリサイクルに取り組んでいる具体的な事例を知り、持続可能な社会の重要性を学んだ。 |
| 広報春日井 | 12 月 1 日号 | - | 地球温暖化防止月間にあわせ、広報に啓発記事を掲載。 |
| エコドライブ講習会<br>(P36 参照) | 12 月9日(月)<br>12 月 16 日(月) | マジオドライバーズスクール<br>春日井校 | エコドライブ講習受講前後の走行燃費比較により、エコドライブの効果を実感し、環境にやさしいだけでなく、安全運転にもつながることを学んだ。 |
| 市職員出前講座<br>(P26 参照) | 7月 24 日(水)～<br>12 月 13 日(金)の<br>期間で 16 回開催 | 松山小学校他 | 環境省の「地球温暖化防止コミュニケーター」養成講座を修了した市職員が講師となり、動画や模型を用い地球温暖化についての講座を実施。身近な環境にやさしいマークを用いたゲームやクイズを通じて楽しみながら地球温暖化について学んだ。 |

消費生活展での展示

エコワールドでのブースの様子

子ども環境アカデミーの様子

## エコライフDAY

具体的取組み番号　180

【取組み内容等】

毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、市民や事業者の皆さんそれぞれが地球環境に優しい行動を積極的に行う日としています。啓発チラシを作成・配布するほか、横断幕及び懸垂幕の設置、環境カレンダー（ごみ出しカレンダー）へ記載するなど啓発を図っています。

QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

2019 年8月7日（水）のエコライフDAYには、日本古来の涼み方である「打ち水」を公共施設やかすがいエコオフィス認定事務所の市内各所で行いました。市民広場（エコライフセミナー）で 55 人、その他市公共施設で 364 人（43 施設）、かすがいエコオフィスで 368 人（42 事業所）の皆様にご参加いただきました。

打ち水参加エコオフィス認定事業所（2019 年度）　（50 音順）

| 番号 | 事業所名 |
|---|---|
| 1 | 愛知タイヤ工業株式会社　春日井工場 |
| 2 | 医療法人社団喜峰会　デイサービス喜峰 |
| 3 | 医療法人社団喜峰会　東海記念病院 |
| 4 | 株式会社ウエダ |
| 5 | 王子製紙株式会社　春日井工場 |
| 6 | 株式会社大垣共立銀行　味美支店 |
| 7 | 株式会社大垣共立銀行　春日井支店 |
| 8 | 株式会社大垣共立銀行　春日井市役所出張所 |
| 9 | 株式会社大垣共立銀行　勝川支店 |
| 10 | 株式会社大垣共立銀行　高蔵寺支店 |
| 11 | 株式会社大垣共立銀行　ニュータウン特別出張所 |
| 12 | 株式会社大垣共立銀行　如意申出張所 |
| 13 | 株式会社大垣共立銀行　東野支店 |
| 14 | 介護老人保健施設グレイスフル春日井 |
| 15 | 亀甲通運株式会社 |
| 16 | 株式会社共栄堂 |
| 17 | グループホームグレイスフル八田 |
| 18 | グレイスフル浅山 |
| 19 | 昭和精機株式会社　高蔵寺工場 |
| 20 | 株式会社ソシオネクスト高蔵寺事業所 |
| 21 | 第 2 グレイスフル春日井 |

| 番号 | 事業所名 |
|---|---|
| 22 | 大和エネルフ株式会社 |
| 23 | 中部精機株式会社 |
| 24 | 中部電力株式会社　電力ネットカンパニー 春日井営業所 |
| 25 | 株式会社中部レキセイ |
| 26 | 株式会社ティーイーティー |
| 27 | 株式会社TDS |
| 28 | 東春信用金庫　味美支店 |
| 29 | 東春信用金庫　高蔵寺支店 |
| 30 | 東春信用金庫　六軒屋支店 |
| 31 | 東濃信用金庫　小野支店 |
| 32 | 東濃信用金庫　春日井支店 |
| 33 | 東濃信用金庫　勝川支店 |
| 34 | 東濃信用金庫　八田支店 |
| 35 | 東邦ガス株式会社　春日井営業所 |
| 36 | トウメイ保安株式会社　工場 |
| 37 | トウメイ保安株式会社　本社 |
| 38 | 東洋電機株式会社 |
| 39 | トヨタホーム株式会社　春日井事業所 |
| 40 | パナソニック エコシステムズ株式会社 |
| 41 | パナソニック エコシステムズ ベンテック株式会社 |
| 42 | 株式会社松浦組 |

※かすがいエコオフィス認定事業所の取組みについては 35 ページをご覧ください。

## （3）地域環境の整備

### かすがいシティバス事業

具体的取組み番号 9

【取組み内容等】

公共交通空白地域における昼間の時間帯の高齢者の移動手段の確保及び環境負荷の軽減を目的として、4路線（東環状線、西環状線、北部線、南部線）で、かすがいシティバスを運行しています。環境にやさしい交通手段の一つとして、例年 30 万人以上の市民が利用しています。

運賃は、200 円の均一運賃となっています。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

かすがいシティバス利用者数

| 路線 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|---|---|---|---|
| 東環状線 | 208,608 人 | 206,034 人 | 208,222 人 |
| 西環状線 | 58,279 人 | 61,720 人 | 62,360 人 |
| 北部線 | 16,884 人 | 18,268 人 | 19,317 人 |
| 南部線 | 36,292 人 | 38,130 人 | 38,482 人 |
| 合計 | 320,063 人 | 324,152 人 | 328,381 人 |

かすがいシティバス

### 次世代自動車の普及促進

具体的取組み番号 11

【取組み内容等】

市では、ハイブリッド車を1台新規購入するなど、公用車への次世代自動車の導入を進めており、2019 年度末現在で 50 台導入しています。

また、次世代自動車の認知度を向上し、普及促進をするため、環境イベントのアースデイ朝宮公園、エコメッセフェスタで燃料電池車 MIRAI（愛知県協力）の車両を展示し、普及啓発を行いました。

次世代自動車導入台数
（2019 年度末）

| 分類 | 導入台数 |
|---|---|
| 電気自動車 | 3 台 |
| ハイブリッド車 | 6 台 |
| クリーンディーゼル車 | 41 台 |
| 合計 | 50 台 |

燃料電池車の展示
（エコメッセフェスタ）

## 第2節　自然を守り自然に親しむ（自然共生社会）

### （1）自然との共存

#### 希少野生動植物種の保護　　具体的取組み番号　57

【取組み内容等】

市では、希少な野生動植物を守るために、2012 年（平成 24 年）1月 10 日、市指定希少野生動植物種8種を指定しました。

○植物 ： シデコブシ、ササユリ、ヒメカンアオイ

○動物 ： カヤネズミ、ヨタカ、ナゴヤダルマガエル、ギフチョウ、ヒメタイコウチ

2019 年度は、自然環境保全や外来種の問題等について、作成したパンフレットを用いて、緑と花のフェスティバルや春日井まつりエコワールド等の行事で広く周知啓発しました。また、自然環境保全活動推進員が月1回希少種保護の巡回活動を実施しました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

パンフレット「守りたい春日井の自然」

#### 自然環境保全活動推進員　　具体的取組み番号　77

【取組み内容等】

自然環境の保全に関する知識の普及や保全活動の推進のため、2019 年度は、第7期（2019、2020 年度）の推進員 30 人で活動しました。

この推進員は、自然環境の保全を推進するリーダーとして、次の役割を担います。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

① 自然環境の保全に関する普及活動の推進
② 自然環境の保全に必要な巡回活動
③ 自然環境調査等への協力
④ 指定希少野生動植物種の保護啓発の巡回活動

活動内容

1 希少種保護の巡回活動　　月1回
2 意見調整や情報交換のための連絡会議　年6回
3 資質向上のためのステップアップ講座　年6回
　4月　「竹林の整備」　4、5月　「ギフチョウの成体数調査」
　5月　「ツバメ調査」　9月　「セミの抜け殻調査」
　10 月　「怪我の予防」　2月　「外来動物」

「ギフチョウの成体数調査」で撮影

「セミの抜け殻調査」の様子

## 市民団体による環境保全活動

具体的取組み番号 77

【取組み内容等】

持続可能な社会の実現に寄与するため、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議（以下、「PS会議」という。）の市民団体会員により様々な環境保全活動が行われています。

QR コードを読み込んで
春日井市 HP へアクセス

PS会議の市民団体会員による環境保全活動（2019 年度）

| 市民団体名 | 活動内容 |
|---|---|
| 春日井SDGs推進ネットワーク（旧中部ESD拠点推進協議会） | 国連が 15 年間（2016~2030 年）で達成するために掲げた 17 の国際目標である『持続可能な開発目標（SDGs）』を推進することを目的に活動した。 |
| かすがい里山自然楽校 | 潮見坂平和公園内の希少種植物の生息地保全整備や、自然体験、観察会などの環境学習のためのフィールド整備を行った。 |
| 春日井里山保存会 | ビオトープを設置し、水生生物等の保護・管理など自然環境の保全を行った。さらに、イノシシ侵入防止のための門扉を設置しビオトープの保全を図った。 |
| かすがいシェアリングネイチャーの会 | 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会の基本理念に沿って、市内小学校での野外活動やイベントにおいてネイチャーゲームの指導などを行った。 |
| 春日井自然友の会 | イノシシによる野草園の被害を防ぐため、野草園南側及び西側に鉄製フェンスを設置し、維持管理及び自然保護を実施した他、自然観察会、自然調査を行った。 |
| 春日井スカウト団協議会 | ボーイスカウト・ガールスカウトで構成され、青少年の健全育成を目標とし、野外活動を通して自然を学び友情協調の精神を育てる事を目的として活動した。 |
| かすがい東部丘陵自然観察会 | 生き物への関心と生物多様性の大切さなどを学ぶきっかけづくりとして、アゲハチョウ飼育セットを市内小学校へ無償提供するため、食草（アゲハソウ）の生育管理、増殖を実施した。 |
| 環境学習ネットワークグループ | 高座小学校や岩成台小学校4年生の校区自然探検を支援するとともに、高座小学校・岩成台小学校・篠原小学校5年生の野外学習をサポートした他、竹を使った工作を行う環境出前講座を行った。 |
| 高蔵寺ニュータウン活き活き楽農会 | 玉野の遊休地で安心安全な有機野菜づくりや自然環境保全のための清掃活動を行った。 |
| たかくらこどもエコクラブ | 高座小学校内にて環境学習と自然遊び、エコ工作、庄内川の水質調査とガサガサ体験、少年自然の家でサマーキャンプと自然観察など様々な環境学習及び体験を行った。 |
| 中部大学発光生物学研究室 | 潮見坂平和公園及びその周辺地域に生息しているホタル類、特にヘイケボタルの概況を把握するため、ホタル類の分布・生息環境の調査や遺伝子解析を行った。 |
| 特定非営利活動法人かすがいネイチャー | 高森山にすむニホンリスを調査・保全するため、毎月ニホンリスへの給餌活動や高森山のくるみ苗の植樹や周辺の下草刈りを行い、生態状況を把握した。 |
| 特定非営利活動法人ザ・希望 | 障害者・高齢者等とともに、耕運機による畑の浄化やさつまいもの蔓の植え付けを行った。収穫の際は地域の子ども達が参加し、芋ほりを通じて自然とふれあった。 |
| 名古屋工業大学ソーラーカー部 | 春日井まつり「エコワールド」において、ラジコンソーラーカーの体験やソーラーカーに使われる部品や材料などの展示を通じて、自然エネルギー利用の啓発活動を行った。 |
| みろく山麓の自然を守る会 | 築水池北岸湿地の保全・観察、散策路の管理を行った。 |

野外学習サポートの様子
（環境学習ネットワークグループ）

環境学習の様子
（たかくらこどもエコクラブ）

ラジコンソーラーカーの体験
（名古屋工業ソーラーカー部）

## （2）自然とのふれあい

### 自然環境学習会

具体的取組み番号　74

【取組み内容等】

自然とふれあう機会の提供と、自然環境の保全に対する理解と関心を深めるため自然環境保全活動推進員が講師となり、自然環境学習会を実施しました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

自然環境学習会（2019 年度）

| イベント名 | 開催日 | 場所 | 参加者 | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 夏休み自然環境学習会 | 8月<br>24 日<br>（土） | 落合公園<br>管理棟 | 58 人 | 「水のオリンピック」と称した水の特性を利用した実験や競技を行い水の大切さについて学習し、竹を使った水鉄砲を作製した。 |
| 自然観察会 | 10 月<br>6日<br>（日） | 庄内川 | 53 人 | 庄内川で川の中の生き物を採取観察し、水の汚れなどを調査する自然観察会を実施した。 |
| 秋の自然環境学習会<br>（子ども環境アカデミーと共同開催）（P27 参照） | 11 月<br>16 日<br>（土） | 潮見坂<br>平和公園 | 23 人<br>（33 人） | 潮見坂平和公園の山林や竹林の中で自然観察を行った。その後、縁起が良いといわれる植物の種などを使って、お守りと木のストラップを作製し、自然と親しんだ。 |

自然観察会

秋の自然環境学習会

## 少年自然の家周辺での取組み

具体的取組み番号 75

【取組み内容等】

愛知高原国定公園に指定される優れた自然環境に恵まれた少年自然の家周辺において、地域の自然を活かした様々な自然学習を実施しました。(19 イベントで延べ 9,300 人参加。)

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

少年自然の家周辺での自然学習(2019 年度)

| イベント名 | 開催日等 | 参加者 | 内容 |
|---|---|---|---|
| わくわく自然ランド | 年4回実施 | 259 人 | 身近なフィールドである春日井の東部丘陵の魅力と四季折々の自然に触れる体験を4月、7月、11 月、2 月の年4回実施した。 |
| 里山体験(田んぼと森の学校) | 年8回実施<br>各回1泊2日 | 302 人 | 米作りに関わる勤労体験や雑木林の手入れ等、里山環境を生かした自然体験を通じて自然の仕組みや自然と人との関わりについて学んだ。 |
| あそびむしくらぶ | 年6回実施 | 155 人 | 2、3歳児とその保護者を対象として、年間を通じて身近な自然環境に親しんだ。 |
| 自然学校 | 年5回実施 | 86 人 | 地域特有の湿地と生物の観察や雑木林の手入れを通して里山の生物多様性とその保護の必要性を学んだ。 |
| きらめきキャンプ<br>ホタル＆カヌー | 6月8日(土)<br>～6月9日(日) | 39 人 | 家族でテント泊や野外炊事、ナイトハイク、カナディアンカヌー、パンづくりを楽しんだ。 |
| 冬のファミリーキャンプ | 12 月 14 日(土)<br>～12 月 15 日(日) | 62 人 | 親子で自然観察、リースづくり、もちつき、キャンプファイア等を楽しんだ。 |
| 築水池カヌー体験 | 7月 20 日(土)<br>7月 21 日(日) | 57 人 | カヌーでしか味わえない景色を楽しむとともに水鳥の視点で周辺の森林を観察した。 |
| 野外活動・自然体験指導者講座 | 5月 11 日(土)<br>9月7日(土)<br>9月8日(日)<br>10 月 26 日(土) | 35 人 | プロジェクト・ワイルドのエデュケーター養成講座<br>自然体験活動の理念、自然の仕組み、自然を知る<br>参加者を知る、自然体験活動の基礎、ナイトハイク　他<br>安全対策、普通救命救急　他 |
| 初めて挑戦！アウトドア | 年3回実施<br>各回1泊2日 | 125 人 | 親元を離れての自然体験、共同生活体験を通して自然に親しみ、新たな仲間づくりを進めた。 |
| サマーキャンプ 2019 | 8月 10 日(土)<br>～8月 14 日(水) | 46 人 | 自然体験を通して「生きる力」を育むことを目的とし、自然の仕組みや命(食べ物)の意味を知り、「人と自然のつながり」について理解した。 |
| 大人の里山歩き | 年6回実施 | 98 人 | 東部丘陵の四季折々の自然を感じながら里山歩きを楽しんだ。 |
| 万葉の花めぐり | 5月 16 日(木)<br>10 月 17 日(木) | 30 人 | 万葉集の和歌を楽しみ歌にある植物を観察した。 |
| 自然体験プログラム(夏季・冬季) | 夏季7月 20 日(土)<br>～8月 31 日(土)<br>冬季 12 月 21 日(土)<br>～2月 23 日(日)<br>2月 29 日(土) | 1,993 人 | 夏季　森の探検ゲーム・合同キャンプファイア・ナイトハイクと天体観測<br>冬季　餅つき・キャンドルづくり・バードウォッチング・焚火＆焼きいも |
| 環境教育プログラム | 随時 | 1,380 人 | プロジェクト・ワイルドのアクティビティで野生生物の生態や行動を通じて自然環境について考え学んだ。 |
| ネイチャーガイド×トレッキング | 随時 | 2,529 人 | 小学 5 年生(野外学習)を対象にガイドと一緒に歩き、四季折々の自然を感じながらトレッキングを楽しんだ。 |
| 夜間プログラム | 随時 | 1,841 人 | ガイドとともにナイトハイクを実施した。 |
| 出張自然講座 | 随時 | 216 人 | 申込者のニーズにあわせた自然講座を実施した。 |
| ハチミツしぼり体験 | 6月15 日(土) | 40 人 | ミツバチの観察やハチミツ搾りをした。 |
| 未来授業防災×キャンプ | 11 月2日(土)<br>～11 月3日(日) | 7人 | 災害時に必要な技術をキャンプを通して学んだ。 |

# 第3節　ごみを減らし資源を有効に活用する（資源循環社会）

## （1）ごみの減量化と3Rの推進

### エコ先案内人

具体的取組み番号　83

【取組み内容等】

ごみの減量やリサイクル、家庭でのエコ生活などについて、親子を対象に環境紙芝居やエコクイズ、エコ工作、エコかるたを通して、楽しく分かりやすく案内する「エコ先案内人」を実施しました。毎月1回、日曜日の午前 10 時から午後3時まで、クリーンセンターの環境啓発施設エコメッセ春日井において開催し、2月までに延べ 224 人の参加がありました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

（2019 年度）

| No. | 開催日 | 参加者 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 4月 14 日（日） | 19 人 | 絵合わせ |
| 2 | 5月 12 日（日） | 21 人 | 母の日の花束 |
| 3 | 6月9日（日） | 15 人 | ヨーグルトの入れ物で楽器作り |
| 4 | 7月 14 日（日） | 27 人 | タラヨウのエコ宣言 |
| 5 | 8月 18 日（日） | 8人 | 石や貝殻に絵を描こう |
| 6 | 9月8日（日） | 23 人 | 消しゴムこま |
| 7 | 10 月 13 日（日） | 16 人 | まつぼっくりのけん玉 |
| 8 | 11 月 10 日（日） | 3人 | サクラの葉のしおり |
| 9 | 12 月8日（日） | 34 人 | 廃油でエコキャンドル |
| 10 | 1月 12 日（日） | 35 人 | 昔遊びをしよう |
| 11 | 2月9日（日） | 23 人 | 紙皿にのったお雛様 |
| 12 | 3月8日（日） | 中止 | 納豆のふたを使ったミニ額縁 |

各日で使用した環境紙芝居

タラヨウのエコ宣言での工作物

### 環境美化・ごみ減量啓発推進事業

具体的取組み番号　87

【取組み内容等】

家庭からの $CO_2$ 排出量が分かる「環境家計簿」と「資源・ごみ出しカレンダー」を組み合わせた「環境カレンダー」と、資源・ごみの出し方を詳しく掲載した「資源・ごみの出し方便利帳」を作成し、広く市民に配付することにより、資源分別、ごみの減量や省エネが地球温暖化防止につながる取組みであることを啓発しました。また、2018 年3月に導入したごみ収集日や分別方法の検索機能などを有するスマートフォン用ごみ分別アプリ「さんあ～る」のインフォメーション機能を活用し、旬な情報の提供に努めました。さらに、2019 年3月に改定した春日井市ごみ処理基本計画に定めた計画目標を達成するため、ごみの排出抑制に繋がる各種施策を実施しました。

環境カレンダー

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

ごみ分別アプリ「さんあ～る」

## (2)ごみの資源化の推進

### 資源分別収集

具体的取組み番号 98

【取組み内容等】

市内の約 7,350 か所に設置されたごみステーションで、家庭から出た飲料缶・ガラスびん・ペットボトル・新聞紙・雑誌・段ボール・古着・牛乳パックを 2002 年 10 月から、プラスチック製容器包装や金属類を 2013 年4月から資源として分別収集しています。

収集にあたっては、ごみ・資源の分別の徹底と排出マナーの向上を目的に、2007 年(平成 19 年)2月から指定袋制度を導入しています。

資源は、ごみステーションでの収集をはじめ、子ども会や学校などの資源回収団体の活動による回収や、クリーンセンターでの処理によるもの等があり、新聞、雑誌など 11 種類の資源の分別をしています。

QR コードを読み込んで春日井市HPへアクセス

2019 年 10 月から蛍光管の拠点回収を高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、知多公民館及びエコメッセ春日井で行っています。2019 年度は 533 本回収しました。

資源回収状況

| | 2017 年度 | | 2018 年度 | | 2019 年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 市収集 | 資源回収団体 | 市収集 | 資源回収団体 | 市収集 | 資源回収団体 |
| 新聞 | 2,222.04 t | 1,486.18 t | 1,865.32 t | 1,267.08 t | 1,466.71 t | 1,113.66 t |
| 雑誌<br>(雑がみを含む) | 1,902.12 t | 551.02 t | 1,877.97 t | 519.54 t | 1,591.70 t | 451.48 t |
| 段ボール | 1,538.78 t | 324.55 t | 1,477.44 t | 295.35 t | 1,303.35 t | 263.58 t |
| 古着 | 474.03 t | 65.59 t | 480.81 t | 62.49 t | 455.54 t | 58.62 t |
| 牛乳パック | 40.52 t | 19.90 t | 40.37 t | 18.42 t | 37.09 t | 18.75 t |
| 飲料缶 | 271.21 t | 39.17 t<br>(アルミ缶) | 259.96 t | 36.88 t<br>(アルミ缶) | 267.40 t | 36.18 t<br>(アルミ缶) |
| ガラスびん | 1,646.39 t | 0 t | 1,593.10 t | 0 t | 1,556.91 t | 0 t |
| ペットボトル | 768.04 t | —— | 785.75 t | —— | 799.77 t | —— |
| 天ぷら油 | 11.63 t | —— | 11.67 t | —— | 11.39 t | —— |
| プラスチック製<br>容器包装 | 2,575.53 t | —— | 2,607.94 t | —— | 2,761.27 t | —— |
| 金属類<br>(小型家電を含む) | 427.26 t | —— | 664.95 t | —— | 937.95 t | —— |
| 合計 | 11,877.55 t | 2,486.41 t | 11,665.28 t | 2,199.76 t | 11,189.08 t | 1,942.27 t |

### 焼却灰の活用

具体的取組み番号 101

【取組み内容等】

ごみ処理施設(クリーンセンター)では、ごみを燃やしてできる焼却灰をセメント工場に送り、セメント原料として有効活用に努めました。

QR コードを読み込んで春日井市HPへアクセス

焼却灰等の有効活用

| 種類 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 |
|---|---|---|---|
| セメント原料 | 2,994.93 t | 2,996.73 t | 2,994.52 t |

セメント工場

セメント

## 第4節　市民と事業者、行政が協働して環境まちづくりを進める（連携・協働）

### （1）環境市民の育成

#### 市民環境アカデミー　　具体的取組み番号　181

【取組み内容等】

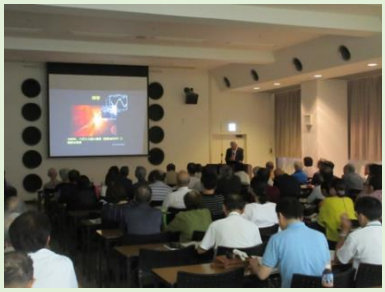
環境について幅広い知識を有し、環境への取組みを実践できるリーダー的な役割を担う人材を育成するため、資源循環、生物多様性、海洋汚染など幅広く環境について、講義やワークショップなどを通じて学べる全6回講座を実施しました。

2019 年度は受講者 45 人のうち、全6回中5回以上出席した 34 人の方へ修了証を交付しました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

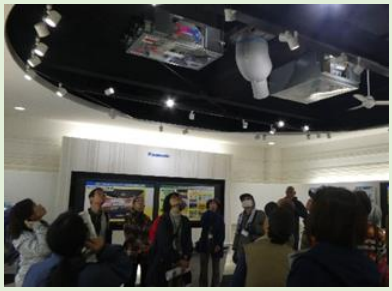
市民環境アカデミー講義内容（2019 年度）

| No | 講座名 | 講師 | 開催日 | 場所 | 参加者 | 内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 太陽と惑星と生命と | 国立天文台長<br>常田佐久 | 8月<br>17 日<br>（土） | グリーンパレス<br>春日井 | 38 人 | 我々生命が存在している地球の存在そのものが奇跡的であることを学び、その地球環境を守っていくことが大切であることを知り、地球環境問題について考えるきっかけとなった。 |
| 2 | パソコンの分解からリサイクルを学ぶ～レアメタルを探そう～ | シーピーセンター<br>株式会社<br>営業部<br>堀将嘉 | 10 月<br>4日<br>（金） | グルッポ<br>ふじとう | 33 人 | 手作業でパソコンの分解作業に挑戦し、分解した部品を鉄、プラスチック、基盤などに分け、さらにレアメタルを探し、廃棄物がリサイクル可能になることを体験し、資源循環について学んだ。 |
| 3 | 空気・水の環境事業を創造する春日井工場エコツアー | パナソニック エコシステムズ株式会社<br>環境・品質推進室室長<br>内藤清隆 | 11 月<br>29 日<br>（金） | パナソニック<br>エコシステムズ<br>株式会社 | 39 人 | 遮熱塗装や地中熱の利用、照明の LED 化など、市内の事業者が $CO_2$ 削減やリサイクルに取り組んでいる具体的な事例を知り、持続可能な社会の重要性を学んだ。 |
| 4 | 発光生物が照らす環世界 | 中部大学応用生物学部<br>環境生物科学科教授<br>大場裕一 | 12 月<br>7日<br>（土） | 中部大学 | 40 人 | 身近にいるミミズから深海魚まで世界中に存在している発光生物の環世界を通して生物多様性や、生態系の保全など自然環境の大切さを学んだ。 |
| 5 | 伊勢湾のマイクロプラスチック汚染の現状 | 四日市大学<br>環境情報学部教授<br>千葉賢 | 1月<br>9日<br>（木） | レディヤン<br>かすがい | 40 人 | 海洋へのプラスチック流出量や生態系への影響、世界や日本の対策等を学び、プラスチックによる海洋汚染は深刻であることを知り、使い捨てプラスチック製品の抑制など自分たちにできることを考えるきっかけとなった。 |
| 6 | 私たちのための、私たちによる環境まちづくり～学びを行動に～ | 一般社団法人SDGsコミュニティ<br>代表理事<br>新海洋子 | 2月<br>7日<br>（金） | 市役所 | 33 人 | これまでの講座内容を振り返り学んだことを再確認するとともに、グループワークを通して、一人ひとりが環境のためにやりたいこと・やれることを考えた。 |



地球環境問題の講義（第1回）

パソコンの分解（第2回）



エコツアー（第3回）

## 青空教室

具体的取組み番号 184

【取組み内容等】

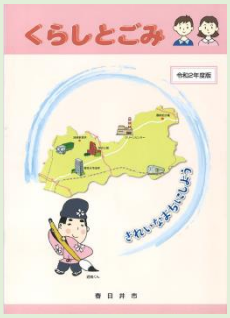
ごみの減量と分別意識を培うため、小学校教師による社会科研究会と協働で作成した、社会科副読本「くらしとごみ」を市立小学校全校(37 校)の4年生に配付しました。

また、市職員がごみ処理の状況、ごみの減量、リサイクルの必要性などを説明するとともに、ごみ収集車にごみを積み込む体験をしてもらう「青空教室」を、小学4年生の社会科総合学習として実施しました。

さらに、園児のごみに対する興味関心を高め、子どもを通して家庭にごみの分別等を周知するため、保育園等においても「青空教室」を実施しました。

青空教室(2019 年度)

| | 施設数 | 人数 |
|---|---|---|
| 小学校 | 37 校 | 2,900 人 |
| 公・私立保育園<br>私立幼稚園 | 51 園 | 2,187 人 |




副読本「くらしとごみ」

青空教室(東野小学校)

## 出前講座

具体的取組み番号 185

【取組み内容等】

地球温暖化防止の取組みを行うきっかけづくりを目的として、地球温暖化の最新情報やその対策について、NPO法人気象キャスターネットワークの協力のもと、気象予報士を講師に招き、市内小学校で出前講座を開催しました。また、環境省の地球温暖化防止コミュニケーター養成講座を修了した市職員(延べ8名)による出前講座を市内小学校や放課後なかよし教室、サマースクールで開催しました。「2100 年未来の天気予報」の動画や模型を使った実験を通じて地球温暖化について学び、自分たちにできることを考えました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

出前講座(2019 年度)

| 講師 | 開催 | 回数 | 学年等 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| NPO 法人気象キャスターネットワーク・気象予報士<br>岩名　美樹、岡安　里美、虫鹿　里佳 | 3校、6クラス | 6回 | 5年生 | 194 人 |
| 市職員 | 2校、3クラス | 3回 | 2年生 | 65 人 |
| 市職員 | 5校 | 6回 | サマースクール | 159 人 |
| 市職員 | 7校 | 7回 | なかよし教室 | 219 人 |

気象予報士による出前講座

市職員による出前講座

## 子ども環境アカデミー

具体的取組み番号 185

【取組み内容等】

子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象に、見学や体験を交え楽しみながら家族ぐるみで環境について学び、考えるきっかけづくりとするため全5回の連続講座を実施しました。

2019 年度は 20 組 44 名の方が受講し、環境への取組みを率先して実施するエコファミリーの育成を図ることができました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

子ども環境アカデミー（2019 年度）

| No | 講座名 | 講師 | 開催日 | 場所 | 参加者 | 内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | リサイクルって大切なんだ！～家電製品の解体現場を見てみよう～ | グリーンサイクル株式会社 | 8月17日（土） | グリーンサイクル株式会社 | 16組33名 | 家電解体工場の見学やデモ装置による素材ごとに分別される過程を体験することで、リサイクルするための解体作業の大変さや、部品を素材ごとに分ける重要性と仕組みなどを学んだ。 |
| 2 | ビンってどうやって生まれ変わるの？～ガラスでキーホルダーを作ろう～ | 有限会社大原ガラスリサイクル | 9月14日（土） | エコメッセ春日井 | 16組35名 | ガラス瓶のリサイクルについての概要とガラス瓶が回収され原材料（カレット）として生まれ変わるまでの工程について学び、資源の有効利用やその大切さを考えた。また、カレットと段ボールを使いキーホルダーを作った。 |
| 3 | 川越火力発電所見学エコツアー～電気の生まれる瞬間を見に行こう～ | 中部電力株式会社 | 11月9日（土） | 株式会社JERA川越火力発電所 | 15組32名 | 手回し発電機などを使った発電実験や発電所内部の見学を通して発電の仕組みを学び、見学や体感することで電気を生み出す大変さを知り、省エネの大切さを実感した。 |
| 4 | 秋の自然環境学習会～春日井の自然と触れ合おう～ | 自然環境保全活動推進員 | 11月16日（土） | 潮見坂平和公園 | 15組33名 | 潮見坂平和公園の山林や竹林の中で自然観察を行った。その後、縁起が良いといわれる植物の種などを使って、お守りと木のストラップを作製し、自然と親しんだ。 |
| 5 | サボテン博士と学ぶ環境生態学～市の特産品「サボテン」について学ぼう～ | 中部大学応用生物学部講師堀部貴紀 | 12月7日（土） | グルッポふじとう | 11組24名 | 市の特産品であるサボテンについて、基礎知識から特徴などを学んだ。動物のすみかや食糧にもなっていること、乾燥した土地でも生きていける理由などサボテンの様々な生態を理解した。 |

火力発電の仕組みを学ぶ様子
（第3回）

自然観察の様子
（第4回）

サボテンについて学ぶ様子
（第5回）

## エコワールド

具体的取組み番号 185

【取組み内容等】

春日井まつりにおいて、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議を始めとする市民団体、事業者、市等が協働でブースを出展し、環境に関する啓発を行う「エコワールド」を開催しました。

2019 年度は、雨模様にもかかわらず、10 月 19 日（土）、20 日（日）の2日間で延べ 18,097 人の方に参加いただきました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

エコワールド出展団体（2019 年度）

| | 市民団体等 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議 | 間伐材を使ってペンダントをつくろう！ |
| 2 | かすがいシェアリグネイチャーの会 | 旬の野菜はどれですか？カードで遊ぶ野菜ゲーム |
| 3 | サービス・トゥー・ネイチャー・春日井 | 木を切ろう（体験コーナー）<br>木の実や松ぼっくり、ドングリを利用して工作 |
| 4 | 中部大学 ESD エコマネーチーム | リスクと食品安全について教材で学ぼう！ |
| 5 | 愛知工業大学総合工学研究会 | 次世代の乗り物を体験しよう！！ |
| 6 | 中部大学発光生物学研究室 | ぴかぴか光る不思議な生きもの |
| 7 | 名古屋工業大学ソーラーカー部 | 光ですすめ！ミニソーラーカーレース！ |
| 8 | パナソニック エコシステムズ株式会社 | ペーパークラフト＆手作り風車 |
| 9 | 株式会社トヨタレンタリース名古屋 | 走る楽しみと低燃費の実現！TOYOTA のエコカー |
| 10 | 王子製紙株式会社　春日井工場 | エコな紙で遊ぼう |
| 11 | 株式会社 LIXIL・春日井市環境政策課 | くらしを快適に地球にやさしく |
| 12 | 春日井市環境保全課・環境分析センター | 海外からやってきた生きものについて知ろう |
| 13 | 春日井市ごみ減量推進課 | バケツ太鼓をたたこう！ |
| 14 | 春日井市清掃事業所 | 牛乳パックでつくろう！「和紙風ランタン」 |

クイズラリーの風景

EV カート体験試乗
（愛工大総合工学研究会）

## 環境絵画コンクール

具体的取組み番号　185

【取組み内容等】

子どもたちの環境保全意識を高めるために、パナソニック エコシステムズ株式会社が主催する「環境絵画コンクール」に、「春日井市長賞」を創設し、受賞作品をごみ収集車にラッピングしました。

春日井市長賞の表彰式、ラッピングしたごみ収集車の展示をエコメッセフェスタにて行い、市民に広く周知をしました。また、ラッピングしたごみ収集車を小学校の青空教室で使用し、子どもたちへの環境保全の啓発にも活用しています。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

表彰式の様子

ラッピングしたごみ収集車との記念写真

## ささえ愛センターでの活動・交流

具体的取組み番号　187

【取組み内容等】

市民活動支援センター（ささえ愛センター）では、市民活動団体やボランティアグループなど、市民が自主的・自発的に行っている公益的な活動を支援するとともに、市民との協働によるまちづくりを推進することを目的として、市民活動に関する相談、情報の発信などを行っています。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

2019 年度は、200 団体が登録しており、2018 年度の 197 団体から3団体増加しました。また、市民活動を行う人材の育成や団体の支援のため、19 回のイベント・講座を行いました。

ささえ愛センターまつり

## エコメッセフェスタ

具体的取組み番号　214

【取組み内容等】

環境やリサイクルに関する展示及び来場者が参加できる催しを通して、環境や3R（Reduce、Reuse、Recycle）を啓発するとともに、啓発施設としてのエコメッセ春日井をアピールするため、エコメッセ春日井において、クリーンセンターバックヤードツアーやごみ分別クイズ、フリーマーケット、エコ料理教室等の体験学習を開催し、2019 年 11 月 17 日（日）に 4,610 人の方に参加いただき、2018 年度の参加人数 3,918 人から大幅に増加しました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

フリーマーケットの様子

## (2)市民協働の推進

### かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

具体的取組み番号 195

【取組み内容等】

市民、事業者、市の三者協働による環境まちづくりを推進する組織として、2002 年 12 月に「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議(以下、「PS会議」という。)」が設立され、2019 年度末の会員数は市民 36 人・市民団体 15 団体・事業者7社となっています。

PS会議は、市の環境に関するイベントに参加・共催するとともに、市民や市民団体の連携の輪を広げるため、2019 年度は新たに林間学校を開催するなど様々な自主イベントを実施しました。

QR コードを読み込んで春日井市 HP へアクセス

PS会議の自主イベント(2019 年度)

| イベント名 | 開催日 | 場所 | 参加者 | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 藤前干潟清掃活動と干潟の観察会 | 5月18日(土) | 藤前干潟及び新川・庄内川河口付近 | 17 人 | 第 30 回を迎えた藤前干潟クリーン大作戦に参加し、清掃活動を行った。その後、普段は立ち入ることができない藤前干潟に入り、貝やカニ、ハゼなど干潟に生息する多様な生物を観察した。 |
| 庄内川アダプトと水生生物調査 | 6月2日(日) | 庄内川右岸河川敷(高蔵寺グラウンド) | 50 人 | 庄内川河川敷の清掃活動で空き缶やプラスチックの袋など多くのごみが集まった。水生生物調査では、カワゲラ類やトビゲラ類など多様な生物が生息していることを確認し、生物の集計から、水質は「ややきれいな水」という結果で、多くの生物が生息できるように、ごみ拾いやごみを捨てないことが大切だと学んだ。 |
| ホタルの観察会 | 6月8日(土) | 少年自然の家 | 61 人 | 中部大学発光生物学研究室　大場裕一教授よりホタルの生態等や、江戸時代におけるホタルと人間社会の関わりについて、浮世絵を用いた一風変わった講義をいただいた。その後、説明を受けながらホタルやホタルの幼虫の観察を楽しんだ。 |
| 庄内川アダプト(熊野グラウンド) | 7月6日(土) | 庄内川右岸河川敷(熊野グラウンド) | 8人 | 当日は天候不良のうえ、水の水位が高かったため水生生物調査は中止し、運営委員のみで清掃活動を行った。30 分という短い時間での清掃活動だが、空き缶やペットボトルなど2袋分のごみを回収した。 |
| 林間学校「竹あかりをつくろう」 | 8月4日(日) | 潮見坂平和公園 | 62 人 | PS 会員である里山自然楽校の協力のもと「竹あかり」を作製した。子どもたちは、慣れないながらもノコギリや小刀の作業を集中して行い、作品を完成させた。作製後は、完成した竹あかりを灯しながら森の中を散策し、自然観察を楽しんだ。 |
| 答志島奈佐の浜海岸清掃 | 10 月13 日(日) | 三重県鳥羽市答志島 | 5人 | 22 世紀奈佐の浜プロジェクト実行委員会が主催する「答志島奈佐の浜海岸清掃」に参加し，庄内川が流れ込む伊勢湾の入り口に位置する答志島で、流木やペットボトル、発泡スチロールなどのごみを回収した。 |
| 親子で楽しくエコ・クッキング | 1月18 日(土) | 東邦ガス㈱クッキングサロン春日井 | 27 人 | 東邦ガス㈱の協力のもと、子どもとその保護者を対象にエコ・クッキング教室を開催し、環境のことを考えた「買い物・料理・片付け」について学んだ。 |
| 冬のエコツアー「鳳来寺山の自然を感じよう！」 | 2月1日(土) | 鳳来寺山自然科学博物館(新城市) | 40 人 | 学芸員のガイドのもと、博物館と鳳来寺山を散策した。博物館では、岩石・植物・動物など多彩な分野を学習した。鳳来寺山の登山では、館内で学習したことを踏まえ、地層や岩石、傘杉などを実際に目にし、自然と触れ合った。 |

林間学校

エコ・クッキング

冬のエコツアー

## 第1章　地球温暖化対策実行計画の概要

本市は、2012 年3月に「春日井市地球温暖化対策実行計画」を策定し、地球温暖化対策に取り組んできましたが、計画策定後の温室効果ガス排出量の推移や社会情勢の変化を踏まえ、2019 年3月に計画を改定し、さらなる取組みを推進しています。

### 数値目標

基準年度　：　2013 年度　　目標年度　：　2030 年度

| 部門 | 削減目標 | 考え方 |
|---|---|---|
| 総量 | 26% | 市内の温室効果ガス総排出量の削減を目指す |
| 民生家庭部門 | 40% | 市内の民生家庭部門から排出される温室効果ガス排出量の削減を目指す |
| 産業部門 | 13% | 市は、愛知県の目標達成に向けて、愛知県が実施する施策に協調、補完し、取組みを実施（愛知県全体での目標達成を目指す） |
| 民生業務部門 | 49% | |
| 運輸部門 | 28% | |

### 施策・取組みの基本方針

**家庭部門への取組みの重視**

本市は温室効果ガス排出量に占める民生家庭部門の割合が愛知県と比較すると高くなっています。生活の基盤となる家庭での取組み意識を高めることで他の部門への波及効果が期待できるため、家庭部門への取組みを重点的に推進します。

**国・愛知県との協調・連携の促進**

取組みの高度化・効率化・多様化を図るために、本市が独自に行う取組みの他、特に産業部門、民生業務部門、運輸部門について、国・愛知県の施策に協調・連携し、取組みを推進します。

**緩和策と適応策の推進**

温室効果ガス排出量の削減に向けての「緩和策」を引き続き実施する他、既に起きている気候変動の影響（熱中症や洪水など）に対処するための「適応策」について、取組みを推進します。

【緩和と適応】

気温上昇を抑えるために温室効果ガスの排出量を減らす「緩和策」とともに、熱中症搬送者数や洪水発生の増加など、既に起きている気候変動への影響に対処するための「適応策」の双方が重要です。

温室効果ガスを減らす「緩和策」

【例】
- 再生可能エネルギーの利用促進
- 次世代自動車の導入促進
- 省エネ行動の実践　等

気候変動の影響に備える「適応策」

【例】
- 熱中症対策
- 洪水、内水対策
- ヒートアイランド等対策　等

# 第2章　温室効果ガス排出量

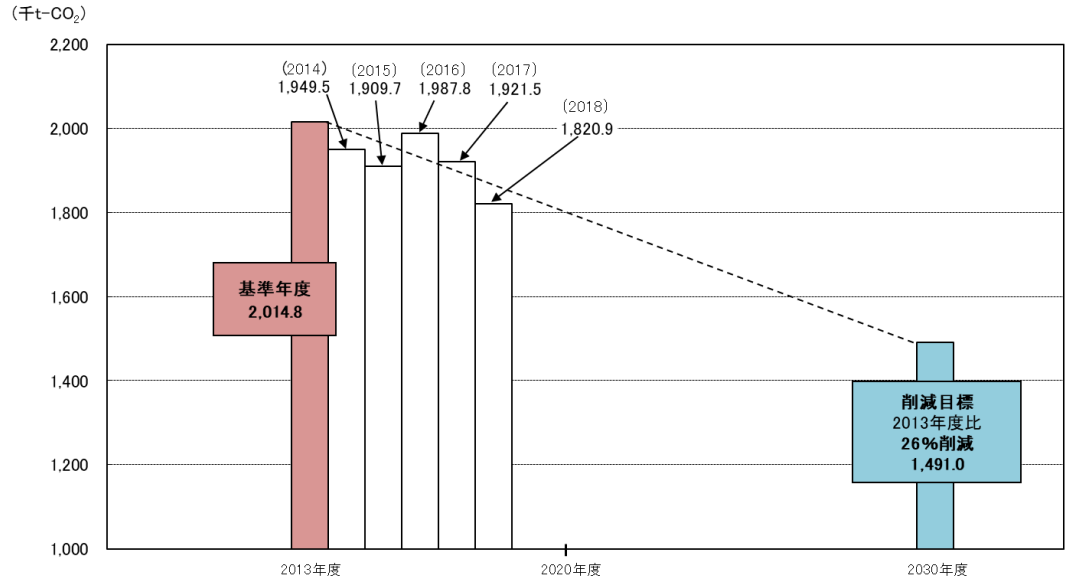
## 第1節　温室効果ガス排出量の推移

### ○春日井市の温室効果ガス排出量の推移と部門別内訳

（単位　千t-$CO_2$）

| 部門名＼年度 | 2013年度（基準年度） | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 増減率（基準年度比） | 増減率（前年度比） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 産業部門 | 750.1 | 754.7 | 727.3 | 799.7 | 770.9 | 752.8 | *0.4%* | *−2.3%* |
| 民生家庭部門 | 336.9 | 316.2 | 299.8 | 310.5 | 292.0 | 269.6 | *−20.0%* | *−7.7%* |
| 民生業務部門 | 475.8 | 420.4 | 422.7 | 410.6 | 390.3 | 325.7 | *−31.5%* | *−16.5%* |
| 運輸部門 | 422.1 | 428.0 | 431.5 | 438.1 | 440.0 | 443.1 | *5.0%* | *0.7%* |
| 廃棄物部門 | 20.8 | 21.0 | 19.1 | 19.5 | 19.3 | 20.8 | *0.3%* | *7.8%* |
| 二酸化炭素排出量 | 2,005.6 | 1,940.3 | 1,900.3 | 1,978.4 | 1,912.5 | 1,812.0 | *−9.7%* | *−5.3%* |
| メタン排出量 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.5 | 1.6 | *−5.1%* | *5.2%* |
| 一酸化二窒素排出量 | 7.5 | 7.6 | 7.7 | 7.7 | 7.5 | 7.4 | *−1.9%* | *−1.2%* |
| 温室効果ガス排出量合計 | 2,014.8 | 1,949.5 | 1,909.7 | 1,987.8 | 1,921.5 | 1,820.9 | *−9.6%* | *−5.2%* |

※　四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。




### ○【参考】愛知県の温室効果ガス排出量

（単位　千t-$CO_2$）

| 部門名＼年度 | | 2013年度（基準年度） | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2017年度増減率（基準年度比） 愛知県 | 2017年度増減率（基準年度比） 春日井市 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| エネルギー起源$CO_2$ | 産業部門 | 40,153 | 39,827 | 39,512 | 39,975 | 40,704 | 1.4% | 2.8% |
| | 民生家庭部門 | 8,584 | 8,000 | 7,376 | 7,465 | 7,569 | −11.8% | −13.3% |
| | 民生業務部門 | 12,072 | 11,336 | 10,881 | 11,175 | 10,845 | −10.2% | −18.0% |
| | 運輸部門 | 13,327 | 12,941 | 13,387 | 13,400 | 13,547 | 1.7% | 4.2% |
| | エネルギー転換部門※1 | 2,435 | 2,341 | 2,303 | 2,364 | 2,337 | −4.0% | − |
| 非エネルギー起源$CO_2$ | | 2,225 | 2,186 | 2,168 | 2,233 | 2,336 | 5.0% | −7.0% |
| 二酸化炭素排出量 | | 78,796 | 76,631 | 75,627 | 76,612 | 77,338 | −1.9% | −4.6% |
| メタン排出量 | | 450 | 429 | 424 | 408 | 406 | −9.8% | −9.8% |
| 一酸化二窒素排出量 | | 978 | 939 | 917 | 918 | 921 | −5.8% | −0.7% |
| フロン類排出量※1 | | 2,158 | 2,380 | 2,539 | 2,863 | 2,922 | 35.4% | − |
| 温室効果ガス排出量合計 | | 82,384 | 80,379 | 79,508 | 80,801 | 81,587 | −1.0% | −4.6% |

※　四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。

※1　本市の計画では、エネルギー転換部門及びフロン類排出量は対象としていない。

## 第2節　温室効果ガス排出量増減の主な要因

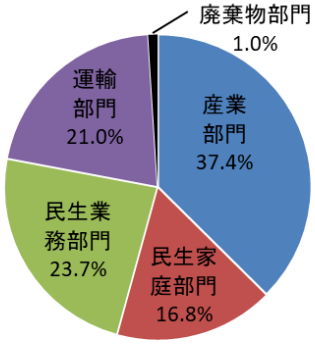
本市の 2018 年度温室効果ガス排出量は、1,820.9 千 t-$CO_2$ であり、前年度比 5.2%の減少、基準年度（2013 年度）比では 9.6%の減少となっています。

前年度から排出量が減少した要因は産業部門、民生家庭部門、民生業務部門で省エネ等によりエネルギー使用量が減少したためと考えられます。

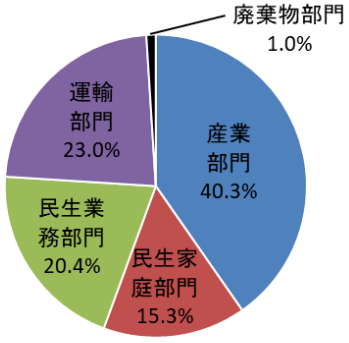
基準年度から排出量が減少した要因は排出量の約4割を占める民生部門（家庭・業務）について省エネ等によりエネルギー使用量が減少したためと考えられます。

なお、電力の二酸化炭素排出係数（中部電力）は、基準年度の 0.513kg-$CO_2$/kWh から、0.457 kg-$CO_2$/kWh と減少しています。

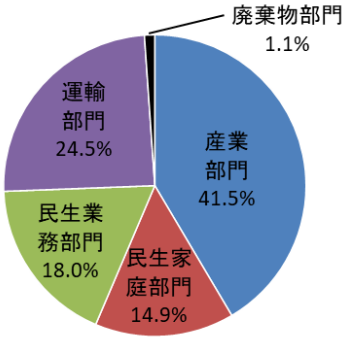
### ○部門別二酸化炭素排出量の割合




2013 年度




2017 年度




2018 年度

**産業部門 【基準年度比 0.4%増】**

産業部門の大半を占める製造業において、製造品出荷額等の増加に伴う生産活動の活性化によりエネルギー使用量が増加したため。

**民生家庭部門 【基準年度比 20.0%減】**

節電や省エネに対する市民の取組みによりエネルギー使用量が減少したため。

**民生業務部門 【基準年度比 31.5%減】**

節電や省エネに対する事業者の取組みによりエネルギー使用量が減少したため。

**運輸部門 【基準年度比 5.0%増】**

排出量の多い貨物車などを始め、自動車保有台数が増加したため。

**廃棄物部門 【基準年度比 0.3%増】**

焼却される一般廃棄物に含まれるプラスチックの量が増加したため。

# 第3章　主な取組み

市民、事業者、市が共通の目標を持ち、その達成に向けた地球温暖化対策を推進するため、温室効果ガス排出量の削減に向けての「緩和策」やすでに起きている影響へ対処する「適応策」の取組みを行っています。2019 年度に実施した主な取組みは次のとおりです。

## 第1節　緩和策 （温室効果ガス削減に向けた取組み）

### (1)再生可能エネルギーの利用促進

| 住宅における太陽光発電システムの導入支援<br>住宅における地球温暖化対策機器の導入支援 | 基本施策Ⅰ-1<br>基本施策Ⅱ-1 |
|---|---|
| 【取組み内容等】<br>14 ページ（環境基本計画　具体的取組み番号 119）をご覧ください。 | |

| 公共施設における太陽光発電システム等の導入促進 | 基本施策Ⅰ-1 |
|---|---|
| 【取組み内容等】<br>15 ページ（環境基本計画　具体的取組み番号 120）をご覧ください。 | |

### (2) 市民・事業者の活動促進

| COOL CHOICE の普及啓発 | 基本施策Ⅱ-2 |
|---|---|
| 【取組み内容等】<br>16 ページ（環境基本計画　具体的取組み番号 112）をご覧ください。 | |

| エコライフ DAY の普及啓発 | 基本施策Ⅱ-2 |
|---|---|
| 【取組み内容等】<br>17 ページ（環境基本計画　具体的取組み番号 180）をご覧ください。 | |

| $CO_2$ の見える化の促進 | 基本施策Ⅱ-2 |
|---|---|

【取組み内容等】

電気、ガスなどの使用量を削減することは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（$CO_2$）の排出量の削減につながります。

毎年、市民に配布する「環境カレンダー」に電気、ガス等の使用量から $CO_2$ の排出量を簡単に計算し、$CO_2$ の排出量を「見える化」することができる「環境家計簿」を掲載し、省エネ意識の高揚を図りました。

環境家計簿

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

## エコオフィス認定事業所の拡大と支援

基本施策Ⅱ-2

【取組み内容等】

節電や節水、ごみの減量化、次世代自動車の導入など環境に配慮した取組みを実施している事業所を応援するため、「かすがいエコオフィス認定制度」を設けています。

「かすがいエコオフィス」に認定されると、認定証と認定ステッカーが交付され、環境活動の PR に活用できるほか、「エコオフィスかすがい」のロゴマークを名刺やチラシ等に印刷して使用することができます。また、環境に配慮した取組みを行う事業所として市ホームページで紹介しています。2019 年度末に認定されている「かすがいエコオフィス」は 63 事業所です。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

また、エコオフィス認定事業所を対象に二酸化炭素排出削減にも繋がるエコドライブ講習会（詳細は 36 ページ）を開催し、エコドライブが燃費の削減や安全運転に繋がることを学びました。

認定番号第〇〇〇号

エコオフィス認定証

〇〇〇〇株式会社　様

春日井市エコオフィス認定制度要綱第4条により、貴事業所を環境に配慮した取組を実施している「かすがいエコオフィス」として認定します。

〇〇〇年〇月〇日

春日井市長　伊藤　太

認定証

認定ステッカー

## ふれあい農業公園の整備と啓発

基本施策Ⅱ-3

【取組み内容等】

市で初となる農業公園「あい農パーク春日井」が開園しました。この施設は「農」をテーマに子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるレクリエーション施設であり、農業の理解や知識、興味に応じた様々な体験ができ、「農」を通じて土や自然と触れ合うことができます。旬の野菜の収穫を体験できるビギナーファームには、1,539 人の方が参加し、環境について自ら考え行動するきっかけとなりました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

あい農パーク春日井の様子

## エコドライブの普及啓発

基本施策Ⅱ-4

【取組み内容等】

自動車の利用にかかる二酸化炭素の排出量の削減に向け、市内自動車学校でエコドライブ講習会を開催しました。12 月 9 日（月）は、市民環境アカデミー受講者、12 月 16 日（月）は、かすがいエコオフィス及び市職員を対象に開催しました。

教習車で通常走行を行ったのち、「最初の5秒でゆったり時速 20kmへ到達する、“ふんわりアクセル”」などのエコドライブの方法を学び、再び教習車でエコドライブ実践走行を行い燃費を比較しました。

多くの参加者がエコドライブ実践走行により燃費が改善し、効果を実感することができました。

また、16 日の講習会では春日井警察署による交通安全講話に加え、エコドライブが地球温暖化対策だけでなく交通安全にもつながることを学びました。

エコドライブ講習会（2019 年度）

| 開催日 | 参加者 | 場所 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 12 月9日（月） | 市民環境アカデミー受講者 11 人 | マジオドライバーズスクール春日井校 | ・通常走行<br>・エコドライブ術講話<br>・エコドライブ実践走行<br>・交通安全講話（16 日のみ）<br>・診断結果発表 |
| 12 月 16 日（月） | 昭和精機㈱高蔵寺工場、グレイスフル春日井、㈱TDS始め 14 人 | | |

エコドライブ術講話の様子

教習車での走行の様子

## 春日井市役所地球温暖化対策行動指針 2020-2030

基本施策Ⅱ-5

【取組み内容等】

市は、温室効果ガスの排出抑制・削減に向け 2001 年（平成 13 年）に「春日井市役所地球温暖化実行計画」を策定しました。

その後、2005 年（平成 17 年）の改定を経て、2012 年には「春日井市役所地球温暖化対策行動指針」を策定し、2020 年3月には、温室効果ガス排出量のさらなる削減に向けて「春日井市役所地球温暖化対策行動指針 2020-2030」に改定しました。

計画期間は 2030 年度までとし、近隣階への階段利用やエコドライブの徹底など職員の行動に関する取組みや、LED 照明や低燃費車両の導入など設備に関する取組みを推進しており、温室効果ガス排出量の削減目標は 2013 年度比で 35％削減としています。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

## (3) 地域環境の整備及び改善

### レンタサイクルの利用促進

基本施策Ⅲ-1

【取組み内容等】

放置自転車を活用した自転車を市内 6 か所に計 31 台設置し無料で貸し出しています。自動車の使用を抑制し、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイル転換の一つとなっています。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

レンタサイクル設置場所（2019 年度末）

| | 設置場所 | 台数 |
|---|---|---|
| 1 | 市役所正面玄関 | 6台 |
| 2 | JR 春日井駅北口自転車等駐車場 | 13 台 |
| 3 | 中央公民館 | 2台 |
| 4 | レディヤンかすがい | 2台 |
| 5 | 総合福祉センター | 2台 |
| 6 | JR 勝川駅東自転車等駐車場 | 6台 |

レンタサイクル

### 次世代モビリティの活用

基本施策Ⅲ-1

【取組み内容等】

多様な移動手段の確保を目的に、市と名古屋大学が連携し、高蔵寺ニュータウンを舞台に「AI オンデマンド乗合サービス」などの実証実験を実施しました。

2019 年 11 月～2020 年2月にかけて実施した AI オンデマンド乗合サービスの実証実験では、108 名の方の利用があり、計 632 件の輸送がありました。

また、石尾台地区内で、電動で自動走行する「ゆっくりカート」を活用した実証実験を、2019 年 11 月に手動運転で、2020 年2月に自動運転で行い、地区内を低速度で走行しました。

「AI オンデマンド乗合サービス」や「ゆっくりカート」は、新たな移動手段の確保の他、二酸化炭素排出量の削減にもつながることから、今後も実証実験を継続していきます。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

AI オンデマンド乗合サービス

ゆっくりカート

## 緑のカーテンの推進

基本施策Ⅲ-2

【取組み内容等】

家庭でできる地球温暖化対策や節電対策、ヒートアイランド対策として有効な「緑のカーテン」を普及啓発するため実演を交えたゴーヤの育成方法を学ぶ「緑のカーテン育成講座」を実施しました。

また、広く市民に普及啓発するため、公共施設 73 施設に緑のカーテンを設置する他、各種イベント実施の際にも育成方法のパンフレットを設置しました。

QR コードを読み込んで
春日井市HPへアクセス

緑のカーテン育成講座（2019 年度）

| 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|---|---|---|
| 5月 17 日（金） | 高蔵寺ふれあいセンター | 17 人 |
| 5月 18 日（土） | 西部ふれあいセンター | 21 人 |
| 5月 23 日（木） | 坂下公民館 | 22 人 |
| 5月 25 日（土） | 南部ふれあいセンター | 12 人 |

緑のカーテン育成講座の様子

公共施設に設置した緑のカーテンの様子

### （4）循環型社会の形成

## ごみの減量と資源化の普及・啓発

基本施策Ⅳ-1

【取組み内容等】

① 環境のことを考えたエコクッキング教室をエコメッセフェスタ（29 ページ参照）やかすがい環境まちづくりパートナーシップ会議（30 ページ参照）主催のイベントとして開催しました。

「買い物」ではマイバッグを持参し、地産地消を心がけ、必要な分だけ買う。「料理」では食材とエネルギーの無駄をなくす。「片付け」では生ごみは水気を切ってから捨てるなど、料理を通してごみの減量や環境について学ぶことができました。

エコクッキング教室の様子

② 青空教室：26 ページ（環境基本計画 具体的取組み番号 184）をご覧ください。

## 第2節　適応策　（気候変動の影響に対処する取組み）

### (1) 健康　（熱中症対策）

#### メール・ホームページなどによる情報提供、注意喚起　　分野別施策　1

【取組み内容等】

子育て情報発信サイト「春日井ハッピーマムズ」のメルマガ登録者や、安全安心メールを通じて熱中症の注意喚起メールを送信するほか、市ホームページを通じた情報提供を行いました。

※安全安心メール：「春日井市安全安心情報ネットワーク」に情報配信登録をされた方に気象情報（気象、地震、避難勧告等）などをメールで配信

ハッピーマムズ

安全安心メール

QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

メールでの注意喚起（2019 年度）

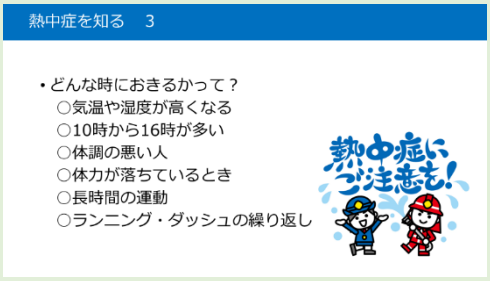
| | 回数 | 登録数（2019 年度末） |
|---|---|---|
| 春日井ハッピーマムズ（随時配信） | 16 回 | 912 件 |
| 安全安心メール（週次配信） | 6回 | 22,983 件 |

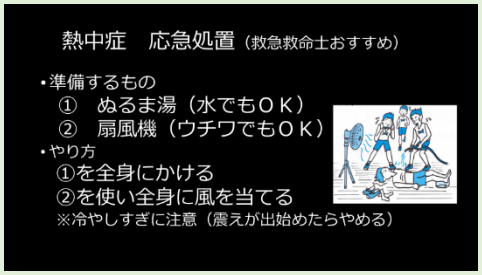
#### 出前講座の実施　　分野別施策　1

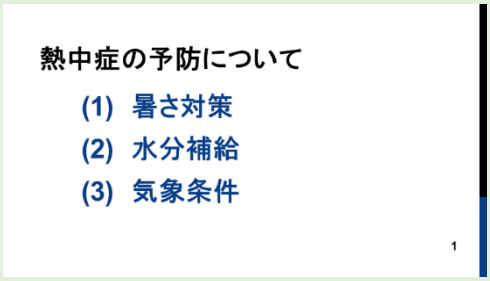
【取組み内容等】

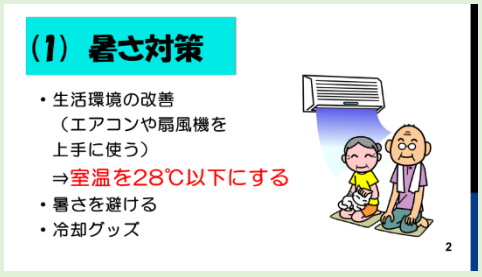
学校等各種団体の依頼により、熱中症の概要と予防策についての知識を深めるための熱中症予防講話を 2019 年度は 11 回実施し、533 名の参加がありました。

QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス




熱中症予防講話で使用したスライドの一部

## ドライミストの活用

分野別施策 1

【取組み内容等】

熱中症対策として市が実施する夏季の屋外イベント等にドライミスト扇風機を設置しました。

ドライミスト扇風機の貸出実績（2019 年度）

| 貸出期間 | 日数 | 場所 | イベント名 |
|---|---|---|---|
| 5月 24 日　～　6月6日 | 14 | 総合体育館 | 市民陸上競技大会他 |
| 6月7日　～　6月8日 | 2 | 市役所 | 消費者生活展 |
| 6月 20 日　～　7月 31 日 | 28 | 交通児童遊園 | 施設利用者向けに稼働 |
| 8月7日 | 1 | 市役所 | エコライフセミナー |
| 8月9日　～　8月 22 日 | 10 | 交通児童遊園 | 施設利用者向けに稼働 |
| 8月 23 日　～　8月 27 日 | 5 | 出川小学校 | 総合防災訓練 |
| 8月 27 日　～　9月 16 日 | 15 | 交通児童遊園 | 施設利用者向けに稼働 |
| 9月 18 日　～　9月 20 日 | 3 | 知多中学校 | 体育祭 |
| 9月 20 日　～　9月 23 日 | 4 | 交通児童遊園 | 施設利用者向けに稼働 |

ドライミスト扇風機の紹介

**細霧冷房**

暑さ対策／ヒートアイランド抑制効果

細冷ミスト噴霧により周囲の温度を屋内外ともに５度以上低下！猛暑、ヒートアイランド対策に効果を発揮！

**清涼・癒し**

体感と視覚による清涼

気化熱の作用により外気・体感温度が下がり、肌にミストが付着するとスッと涼しくなる清涼感は抜群！体感だけではなく視覚からの清涼感も得ることができます。

・最大風速約 10m/秒の強力ファン。
・キャスター付きで移動が容易。
・100V 電源と水道水源を接続するだけで稼働。

交通児童遊園でのドライミスト活用の様子

## (2) 自然災害（洪水・内水対策）

### 洪水ハザードマップによる情報提供・注意喚起<br>安全・安心メールによる情報提供・注意喚起

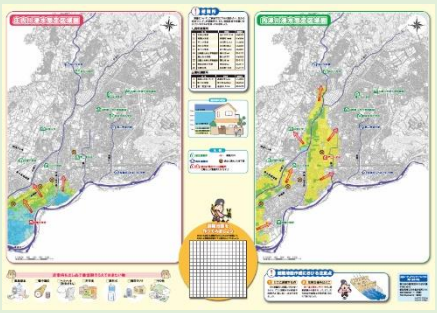
分野別施策 2

【取組み内容等】

庄内川、内津川、八田川の洪水ハザードマップと土砂災害ハザードマップ、及びため池ハザードマップを作成し、自然災害が想定される区域及び避難場所、避難経路を示しています。

また、洪水等により避難が必要となった場合に、市ホームページ、緊急速報メール、安全安心メール※1、音声架電システム※2、L アラート、ツイッター、広報車等様々な手段を用いて避難情報を提供しています。

洪水ハザードマップ



洪水ハザードマップ

※1：安全安心メール：「春日井市安全安心情報ネットワーク」に情報配信登録をされた方に気象情報（気象、地震、避難情報等）などをメールで配信

※2：音声架電システム：区長・町内会長・自治会長（避難情報等を発令した地域が対象）に対し、自動音声による電話連絡を一斉に行うことができるシステム

安全安心メール

QR コードを読み込んで春日井市HPへアクセス

### 雨水流出抑制施設の設置促進

分野別施策 2

【取組み内容等】

大雨時の浸水被害を軽減させるため、公園や区画整理区域内に表面貯留施設や地下貯留施設を設置し、雨水流出抑制対策を推進しています。

2019 年度までに 52 施設を設置し、累計の貯留量は 162,861 立方メートルとなります。

熊野桜佐地区雨水1号調整池（2020 年度完成予定）

QR コードを読み込んで春日井市HPへアクセス

## (3) 国民生活・都市生活（ヒートアイランド等対策）

### 緑化の推進

分野別施策 3

【取組み内容等】

緑のカーテンの推進：38 ページをご覧ください。

### 環境教育の推進、情報提供

分野別施策 3

【取組み内容等】


- 市民環境フォーラム：13 ページ（環境基本計画 具体的取組み番号 119）をご覧ください。
- エコライフセミナー：14 ページ（環境基本計画 具体的取組み番号 119）をご覧ください。
- 市民環境アカデミー：25 ページ（環境基本計画 具体的取組み番号 181）をご覧ください。
- 出前講座：26 ページ（環境基本計画 具体的取組み番号 185）をご覧ください。
- 子ども環境アカデミー：27 ページ（環境基本計画 具体的取組み番号 185）をご覧ください。
- エコワールド：28 ページ（環境基本計画 具体的取組み番号 185）をご覧ください。
- エコメッセフェスタ：29 ページ（環境基本計画 具体的取組み番号 214）をご覧ください。

## 第4章　成果指標の進捗状況

春日井市地球温暖化対策実行計画では温室効果ガス削減に向けた施策の進捗度を客観的に点検・評価するための指標を設定しており、それぞれの進捗状況は次のとおりです。

なお、民生業務部門、運輸部門の温室効果ガス排出量の削減目標は、本市の取組みだけなく、国、愛知県が実施する施策に協調、補完することで愛知県全体として達成を目指します。

このため、「あいち地球温暖化防止戦略2030」において設定する指標・目標値を本市の指標に用います。

### ○　成果指標の推移

| 指標 | 単位 | 2013年度（基準年度） | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2030年度（目標値） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| <民生家庭部門><br>各世帯の1か月あたりの平均の電気使用量※1 | kWh | 286 | 269 | 259 | 276 | 267 | 246 | 246 | 14%削減 |
| <民生家庭部門><br>各世帯の1か月あたりの平均のガス使用量※1 | ㎥ | 27.8 | 27.9 | 26.7 | 26.9 | 25.8 | —※2 | 23.9 | 14%削減 |
| <民生業務部門><br>延床面積1㎡あたりの年間エネルギー消費量 | GJ | 0.31 | 0.30 | 0.29 | 0.29 | 0.28 | —※2 | 0.21 | 32%削減 |
| <運輸部門><br>自動車1台あたりの年間化石燃料消費量 | kl | 1.02 | 0.98 | 1.01 | 1.00 | 1.01 | —※2 | 0.71 | 30%削減 |

※1　基準値は平均値のため、世帯の構成人数や季節等により実際の使用量と差が生じる場合があります。また、ガス使用量は都市ガス使用量を指します。

※2　2018年度については、未公表。（2020年度末公表予定）

書のまち春日井「道風くん」

## 皆様のご意見・ご感想をお聞かせください

本報告書に関してご意見・ご感想がございましたら、郵送、FAX、Eメールにて、市環境政策課までお寄せください。

**春日井市環境部環境政策課**
**〒４８６－８６８６　春日井市鳥居松町５丁目４４番地**
**電話：０５６８－８５－６２１６　　FAX：０５６８－８４－８７３１**
**Ｅメール：kansei@city.kasugai.lg.jp**

令和３年３月　　発行　春日井市　　編集　春日井市環境部環境政策課